

健康・食育に関する意識・生活アンケート調査  
概要報告書

令和4年度  
静岡市

# 目次

調査概要.....	1
食生活.....	2
体型・運動.....	3
生活・健康感.....	6
健診.....	8
こころ.....	9
妊娠・子育て.....	10
タバコ.....	12
歯・口.....	14
コロナウィルス感染症の流行と生活の変化.....	16
食育.....	17

# 調査概要

## 1) 調査目的

「静岡市食育推進計画（第3次）」及び「静岡市健康爛漫計画（第2次）」の最終評価・次期計画策定に係る基礎資料として、市民の食や健康意識、生活実態等を把握することを目的としています。

## 2) 調査種別・調査数

◆1～3歳調査	1,100人	保護者が記入	
◆4～12歳調査（小学生まで）	1,250人	保護者が記入	
◆12～19歳調査（中学生から）	2,000人	本人が記入	
◆20～64歳調査	1,750人	本人が記入	
◆65～84歳調査	1,200人	本人が記入	合計 7,300人

## 3) 調査設計

- ◆調査地域：静岡市全域
- ◆調査対象：静岡市内在住の男女
- ◆調査方法：郵送配付・郵送回収（またはオンラインによる回答）
- ◆調査期間：令和4年7月4日～令和4年7月27日

## 4) 概要報告書の見方

- ◆比率はすべて百分率で表し、小数第二位を四捨五入で算出しました。そのため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- ◆基数となる実数は、集計表、グラフ中に回答数（n）として表記し、回答比率はこれを100%として算出しました。
- ◆1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
- ◆選択肢の文章が長い場合、グラフ上では省略して表記していることがあります。
- ◆報告書に掲載した数表はライフステージ（人生の各段階「世代」）。ライフステージの区分は、乳幼児期（0～5歳）、学童期（6～12歳）、思春期（13～19歳）、青年期（20～29歳）、壮年期（30～44歳）、中年期（45～64歳）、前期高齢期（65～74歳）、後期高齢期（75歳以上）です。この調査は、令和4年6月1日時点の年齢で調査しています。

## 5) 回収結果

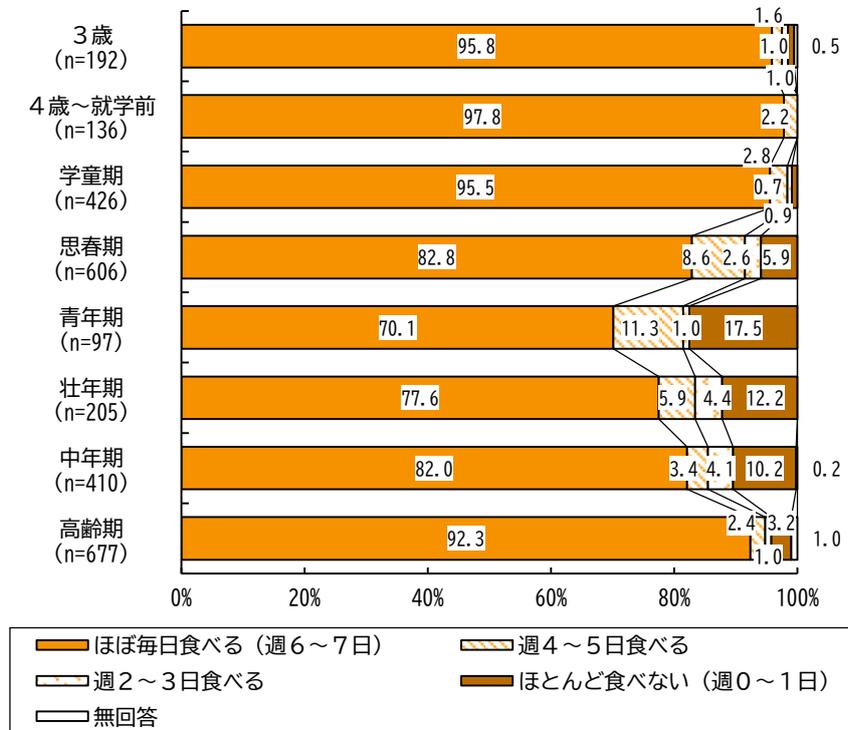
	1～3歳	4～12歳	12～19歳	20～64歳	65～84歳	合計
発送数	1,100	1,250	2,000	1,750	1,200	7,300
有効回収数※	608 (326)	566 (279)	606 (300)	718 (220)	677 (実施なし)	3,175 (1,125)
有効回収率	55.3	45.3	30.3	41.0	56.4	43.5

※（ ）内はオンライン回答数

	葵区	駿河区	清水区	地区無回答	合計
発送数	2,682	2,236	2,382	-	7,300
有効回収数	1,153	986	1,026	10	3,175
有効回収率	43.0	44.1	43.1	-	43.5

# 食生活

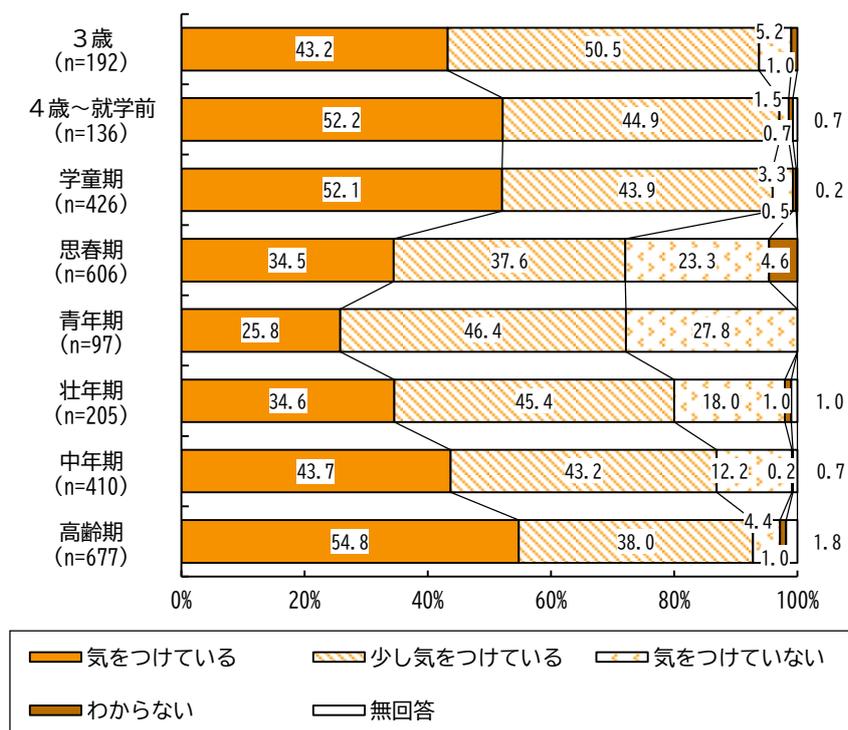
普段、朝食を食べますか。



- ◆ 「ほぼ毎日食べる」が3歳～学童期と高齢期で9割を超えて高くなっています。
- ◆ 青年期・壮年期では、2～3割に朝食の欠食がみられます。

※ 1～12歳は対象者の保護者、思春期以上は本人が記入しています。また、12歳については、12歳の小学生は「学童期」に、12歳の中学生は「思春期」に含まれています。(以下同様)

普段、栄養のバランス (主食・主菜・副菜がそろった食事を食べること) に気をつけていますか。

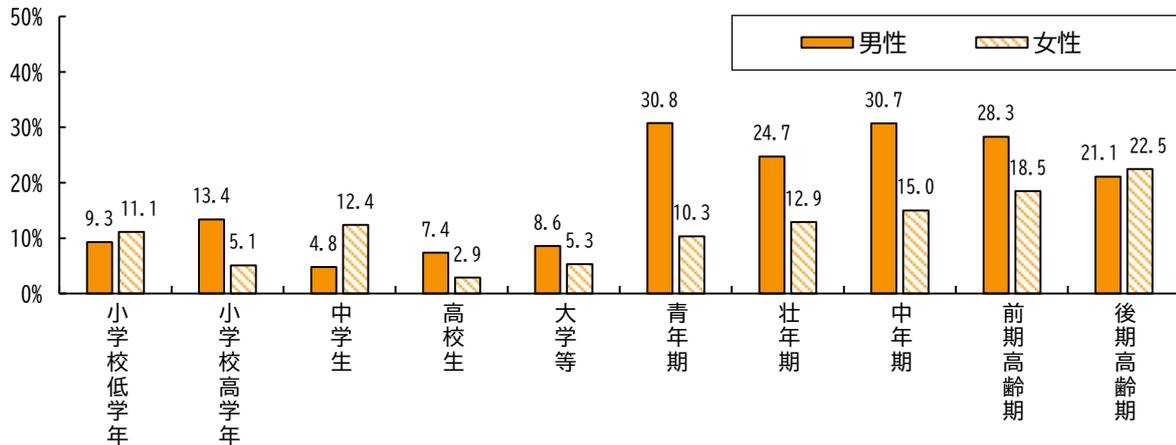


- ◆ 「気をつけている」は、保護者が回答している3歳～学童期で5割前後と高くなっているのに対し、思春期・青年期で3割前後に低下し、その後、年代が上がるほど増加する傾向がみられます。
- ◆ 思春期・青年期では、2～3割が「気をつけていない」と回答しています。

# 体 型 ・ 運 動

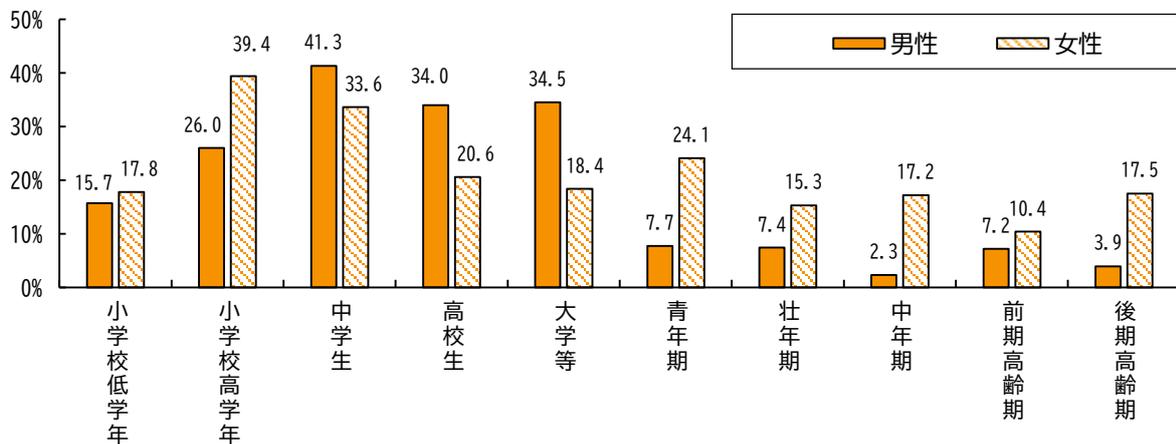
現在の身長・体重を教えてください。(体型：肥満・やせの割合)

## ◀ 肥満者の割合 ▶



◆ 肥満者の割合は、女性より男性で高い傾向があります。中でも、小学校高学年・高校生・青年期・中年期では、女性に比べて男性では2倍以上の割合となっています。

## ◀ やせの者の割合 ▶



◆ やせの者の割合は、概ね男性より女性で高くなっていますが、中学生・高校生・大学等では男性が女性より高くなっています。

## ◀ 体格の区分算出について ▶

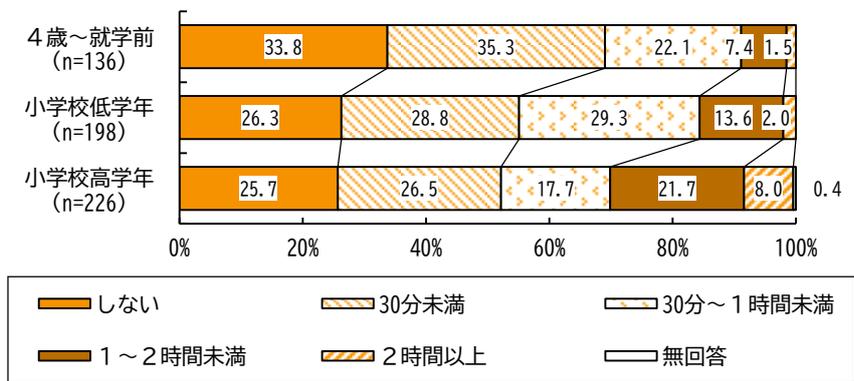
※ローレル指数 (小学校～中学生) : 体重(kg) ÷ 身長(m)<sup>3</sup> × 10

「やせ」 115未満・「普通」 115以上145未満・「肥満」 145以上

※BMI (高校生以上) : 体重(kg) ÷ 身長(m)<sup>2</sup>

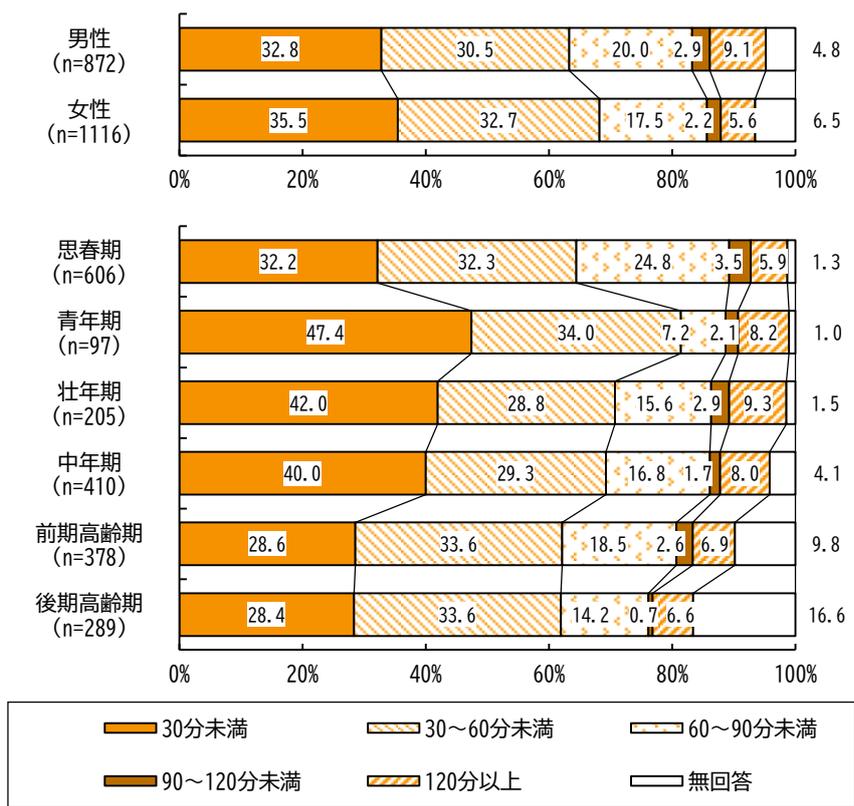
「やせ」 18.5未満・「普通」 18.5以上25.0未満・「肥満」 25.0以上

お子さんは幼稚園、保育園、小学校などが終わってから寝るまでに体を動かす遊びやスポーツを一日平均してどれくらいしますか。



◆ 年代が上がるほど、体を動かす遊びやスポーツを『1時間以上する』(1～2時間未満+2時間以上) 子どもの割合が高くなる傾向がみられ、小学校高学年では約3割となっています。

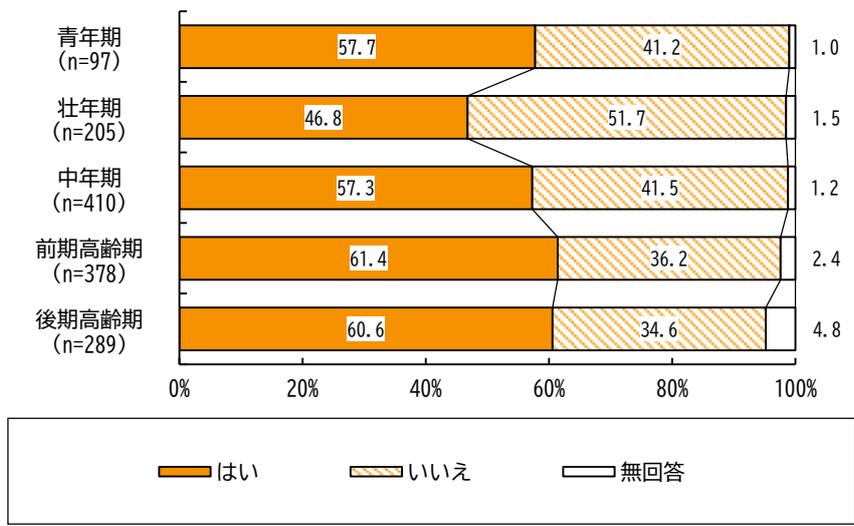
1日に何分くらい歩いていますか。(通勤・通学を含む)



◆ 男女ともに、6割以上が1日に歩いている時間は『60分未満』(30分未満+30～60分未満)と回答しています。

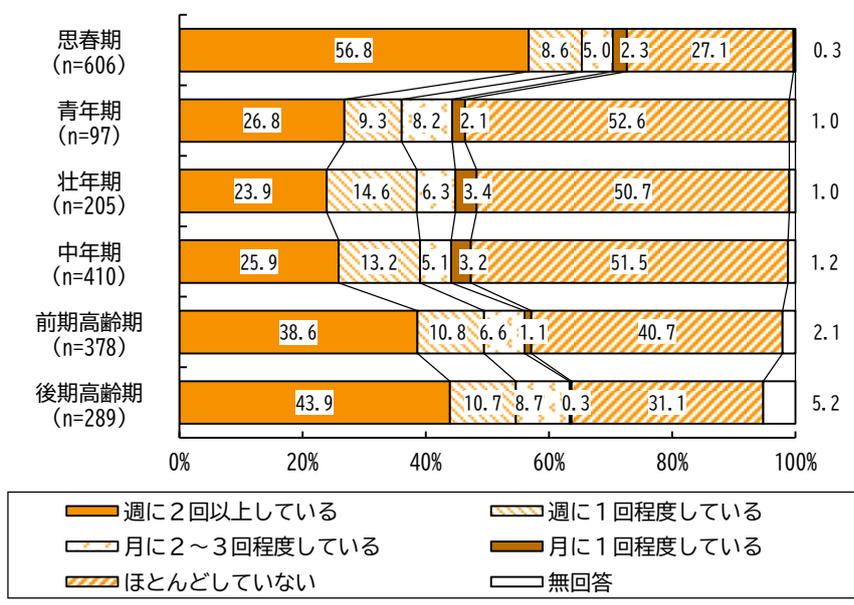
◆ 青年期・壮年期・中年期では「30分未満」が最も高く、前期高齢期・後期高齢期では「30～60分未満」が最も高く高くなっています。

日頃から健康の維持・増進のために、意識的に体を動かすように心がけていますか。(早歩き、エレベーターをやめてあえて階段を使うなど)



◆ ほとんどの年代で「はい(心がけている)」が半数を超えていますが、壮年期は「いいえ(心がけていない)」が「はい(心がけている)」を上回ってやや高くなっています。

1日30分以上の運動をしていますか。(学校での部活動を含み、体育の授業は含めないでください。)

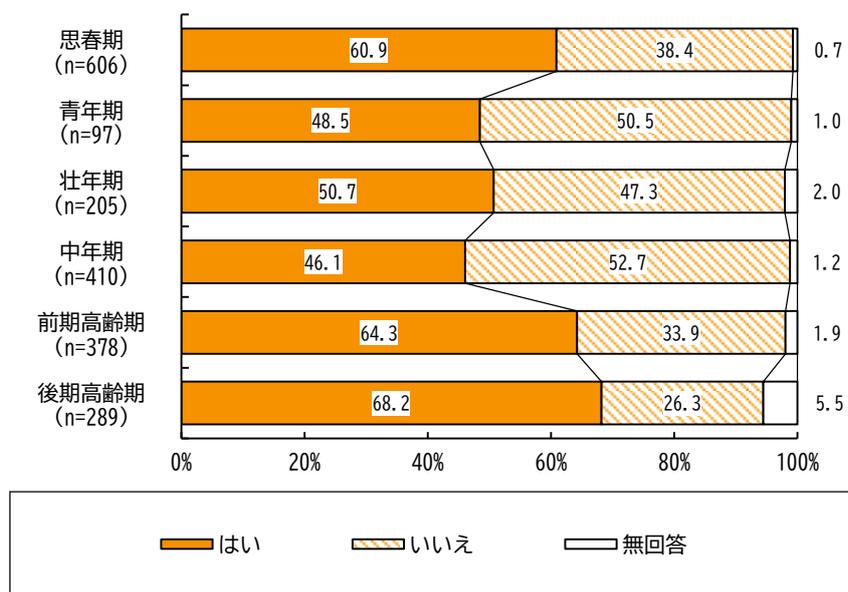


◆ 思春期では5割以上、前期高齢期・後期高齢期では4割前後が、1日30分以上の運動を「週に2回以上している」と回答しています。

◆ 一方、青年期～中年期では、「週に2回以上している」の割合は2～3割に留まり、「ほとんどしていない」が半数を超えています。

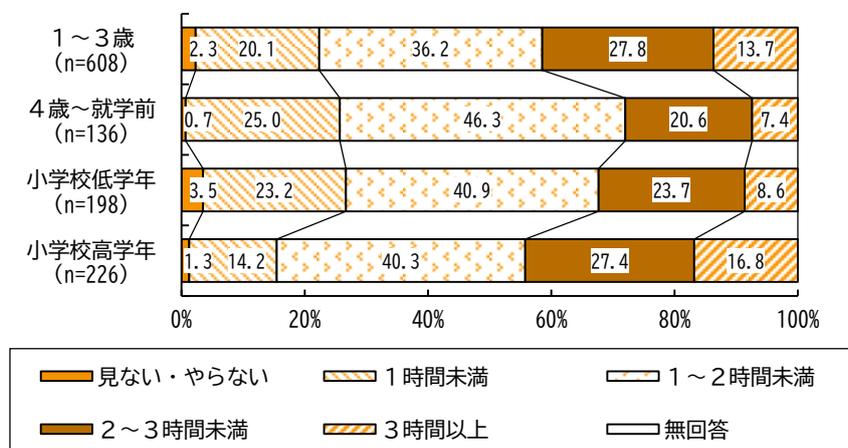
# 生活・健康感

睡眠によって十分な休養がとれていると思いますか。



- ◆ 青年期・中年期では、半数以上が「いいえ」と回答し、睡眠による十分な休養がとれていないと感じています。
- ◆ 思春期・前期高齢期・後期高齢期では、6割以上が「はい」と回答し、十分な休養がとれていると感じます。

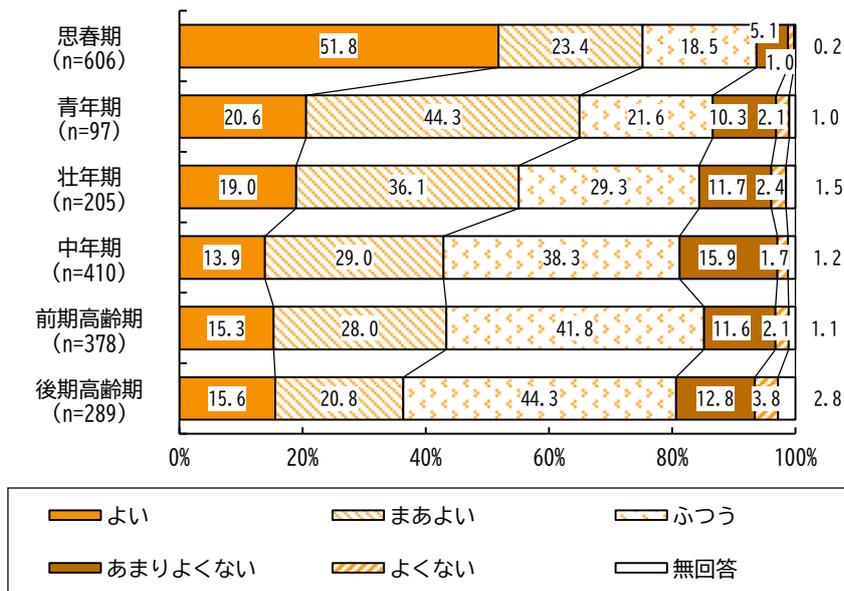
お子さんが1日のうちでテレビを見たり、ゲームやインターネット（タブレット、スマートフォンなど）をする時間はどれくらいですか。



- ◆ どの年代でも、テレビやDVD、タブレットなどを『見る』（1時間未満+1～2時間未満+2～3時間未満+3時間以上）子どもは、9割以上となっています。
- ◆ どの年代でも「1～2時間未満」が最も高くなっています。

※ 1～3歳ではテレビやDVD、タブレットやスマートフォンなどを見る時間、4歳～小学校高学年ではテレビを見たり、ゲームやインターネットをする時間を聞いています。

現在の健康状態はいかがですか。



- ◆ 年代が上がるほど、『よい』（よい+まあよい）が低くなる傾向にあります。
- ◆ 思春期では「よい」が最も高く、半数を超えています。

健康に関して、関心のあることは何ですか。（複数回答）

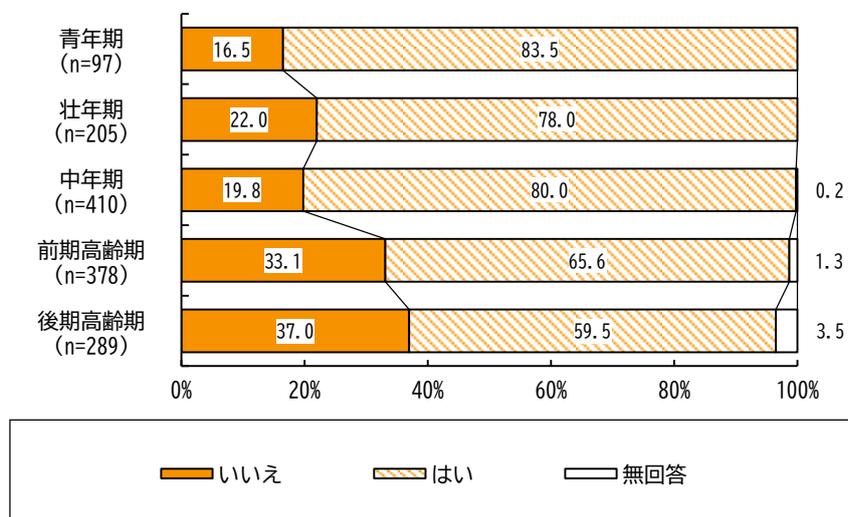
	1位	2位	3位
思春期 (n=606)	運動 61.9%	休養・睡眠 59.9%	食 55.4%
青年期 (n=97)	食 69.1%	休養・睡眠 64.9%	運動 56.7%
壮年期 (n=205)	食 69.3%	運動 64.9%	休養・睡眠 62.9%
中年期 (n=410)	運動 59.8%	食 59.0%	生活習慣病 52.7%
前期高齢期 (n=378)	食 72.8%	生活習慣病 72.2%	運動 64.0%
後期高齢期 (n=289)	食 77.5%	生活習慣病 76.8%	運動 69.9%

- ◆ どの年代でも、「食に関すること（栄養バランス、食品の安全性など）」と「運動に関すること（運動習慣、体力の維持など）」が上位となっています。
- ◆ 思春期～壮年期では「休養・睡眠に関すること」、中年期～後期高齢期では「生活習慣病に関すること（糖尿病、高血圧、がん、心臓病、脳梗塞など）」も上位となっています。

# 健 診

過去1年間に健康診断（特定健診、勤め先が実施した健康診断、人間ドックなど）を受けたことがありますか。

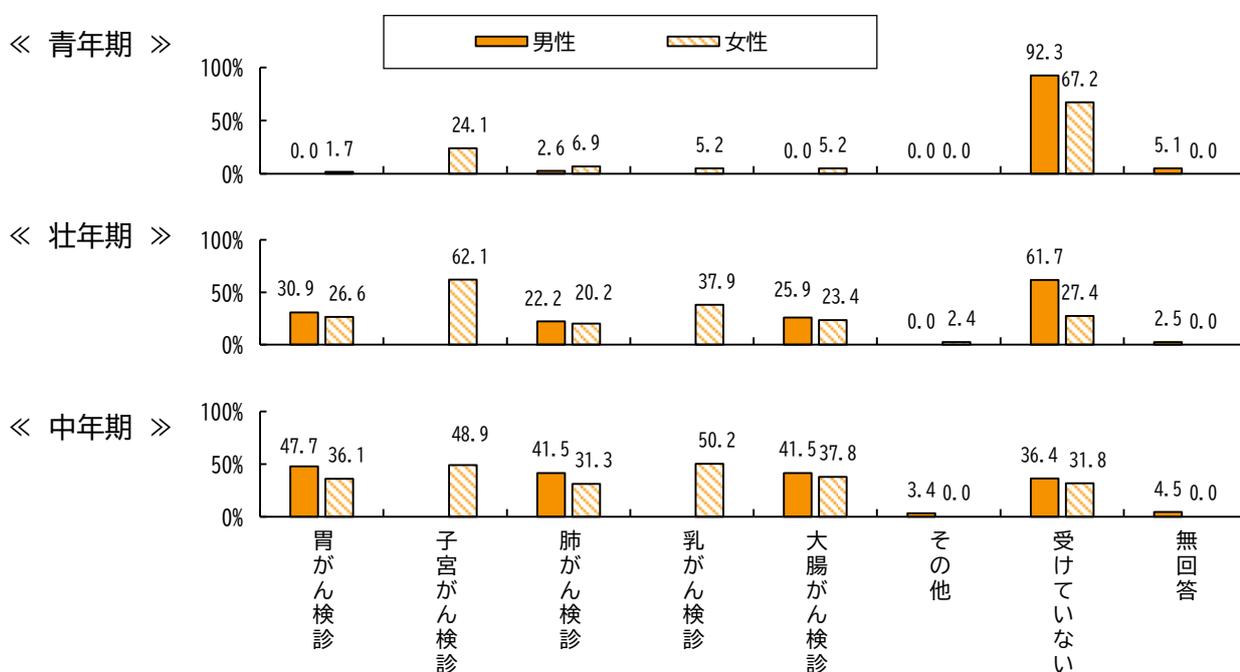
※がンのみの検診、歯科健診、病院や診療所で行う診療としての検査は含みません。



◆ どの年代でも、おおむね6割以上が健康診断を受けたと回答しています。

◆ 前期高齢期・後期高齢期では「いいえ」が3割を超え、受けていない割合が他の年代と比べてやや高くなっています。

過去1年間（「子宮がん検診」「乳がん検診」は過去2年間）に受けた「がん検診」を教えてください。（複数回答）

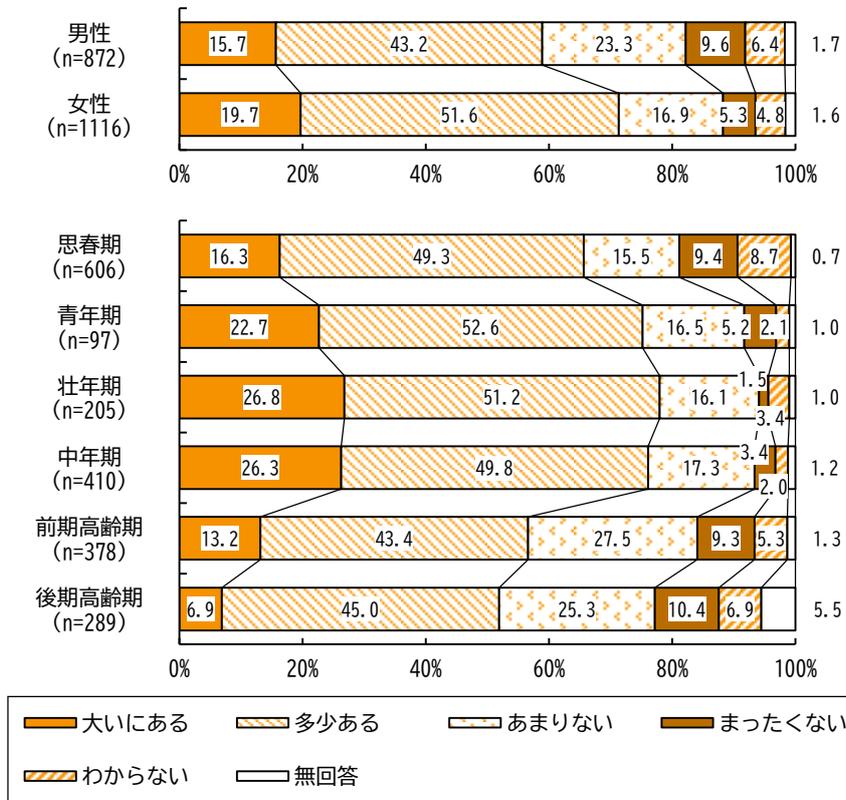


◆ 年代が上がるほど、「胃がん検診」、「肺がん検診」、「大腸がん検診」が、女性では「乳がん検診」も高くなる傾向がみられます。

◆ 男女ともに「受けていない」が高く、中でも青年期では男性で92.3%、女性で67.2%と、他の年代に比べて高くなっています。

# こころ

現在、ストレスはありますか。



- ◆ 男性に比べて女性で『ある』（大いにある＋多少ある）が高い傾向となっています。
- ◆ ストレスのある人の割合は、壮年期・中年期で7割を超えて高くなっている一方、後期高齢期では約半数と低くなっています。
- ◆ 青年期～中年期では、ストレスが「大いにある」人が2割を超えています。

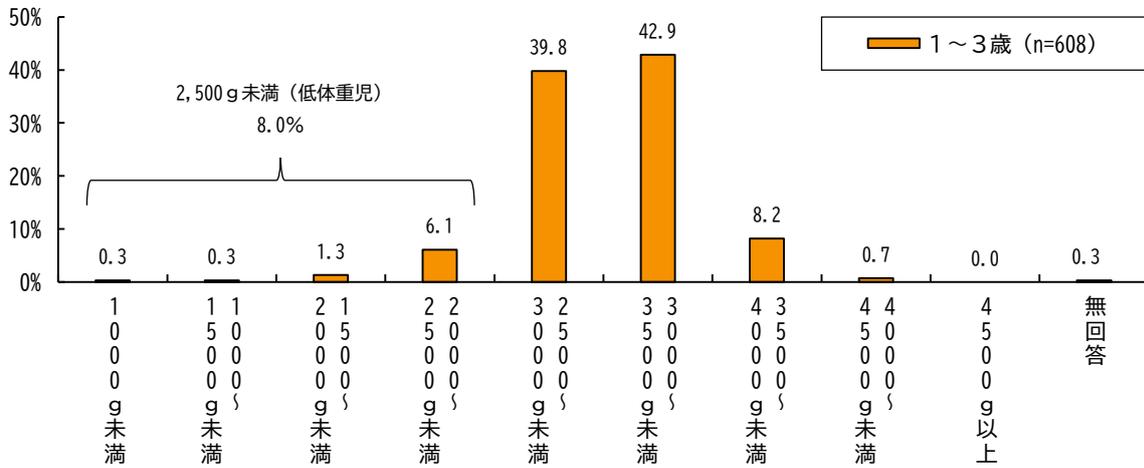
ストレスをどのように解消していますか。（複数回答）

	1位	2位	3位
青年期 (n=81)	好きなものを食べる 55.6%	寝る 53.1%	SNSやゲームをする 49.4%
壮年期 (n=160)	好きなものを食べる 55.6%	テレビ・DVD・音楽 51.9%	寝る 46.9%
中年期 (n=325)	テレビ・DVD・音楽 50.8%	好きなものを食べる 43.7%	寝る 41.2%
前期高齢期 (n=275)	テレビ・DVD・音楽 52.7%	友人・知人と会う 37.5%	好きなものを食べる 34.5%
後期高齢期 (n=188)	テレビ・DVD・音楽 50.5%	友人・知人と会う 48.9%	散歩をする 41.0%

- ◆ 青年期・壮年期では「好きなものを食べる」、中年期～後期高齢期では「テレビやDVDを見たり、音楽を聴く」が1位となっています。
- ◆ 青年期～中年期では「寝る」、前期高齢期・後期高齢期では「友人・知人と会う」が上位となっています。

# 妊 娠 ・ 子 育 て

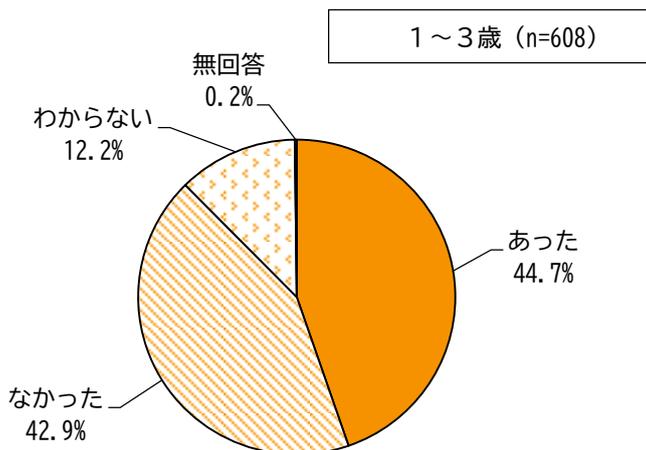
お子さんの出生時の体重を教えてください。



◆ 「3,000～3,500g未満」が42.9%と最も高く、次いで「2,500～3,000g未満」が39.8%などとなっています。

◆ 低体重児とされる『2,500g未満』は、8.0%となっています。

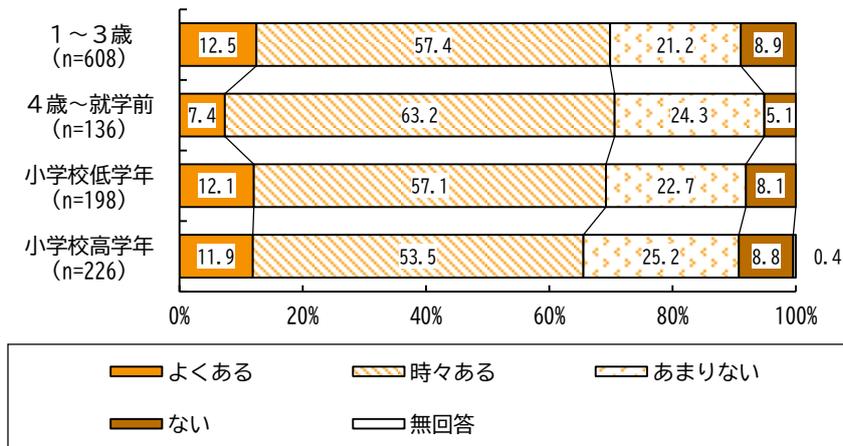
産後3か月くらいの中に、気分が沈んだり涙もろくなったり、何もする気になれないということがありましたか。



◆ 4割以上が、産後3か月くらいの中に、気分が沈んだり、涙もろくなったこと等が「あった」と回答しています。

※ 1～3歳児をもつ母親のことについての回答です。

育児・子育てに自信がもてないことがありますか。



◆ 育児・子育てに自信がもてないことがある人の割合はどの年代でも『ある』(よくある+時々ある)が6割を超えています。

お子さんの健康に関して特に関心のあることは何ですか。(複数回答)

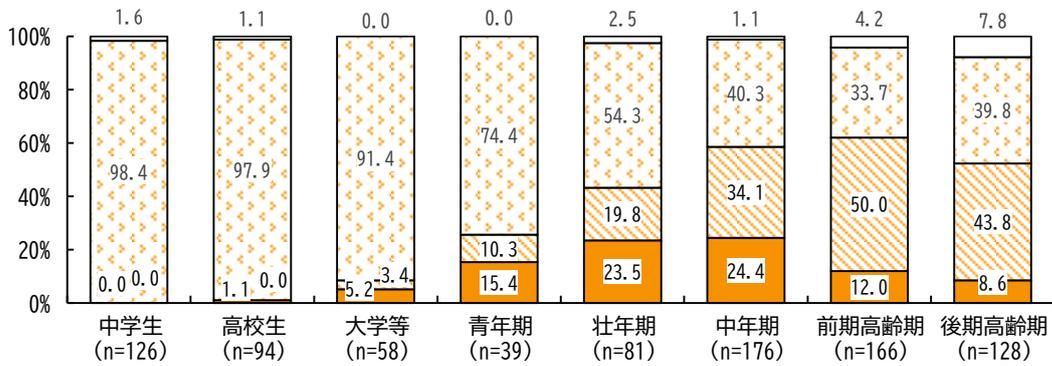
	1位	2位	3位
1～3歳 (n=608)	栄養のバランス 64.6%	むし歯 58.1%	発育 49.3%
4歳～就学前 (n=136)	栄養のバランス 57.4%	心の問題 42.6%	むし歯 41.9%
小学校低学年 (n=198)	栄養のバランス 55.6%	視力の低下 50.0%	心の問題 49.0%
小学校高学年 (n=226)	視力の低下 50.4%	生活習慣の乱れ 42.5%	栄養のバランス 40.7%

- ◆ どの年代でも、「栄養のバランス」が上位となっています。
- ◆ 「心の問題(不登校・いじめなど)」への関心は、4歳～就学前で2位、小学校低学年で3位となっています。
- ◆ 「視力の低下」への関心は、小学校低学年で2位、小学校高学年で1位となっています。

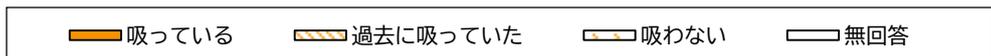
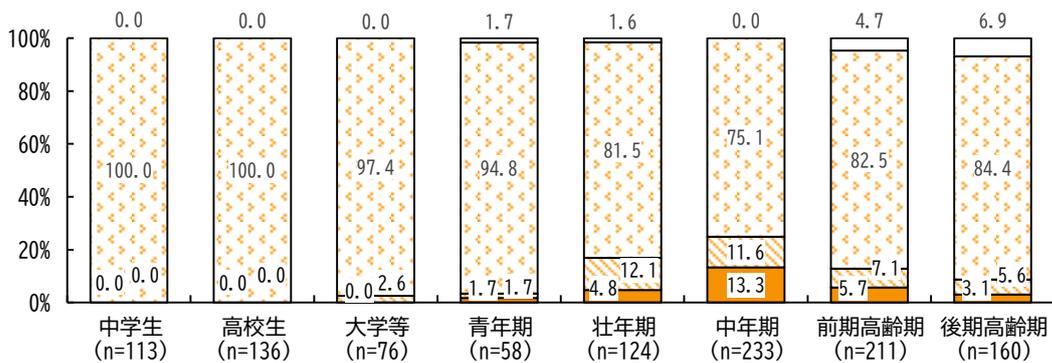
# タバコ

タバコ（紙巻きタバコのほか、加熱式タバコ、電子タバコを含む）を吸ったことがありますか。（ありましたか。）

≪ 男性 ≫

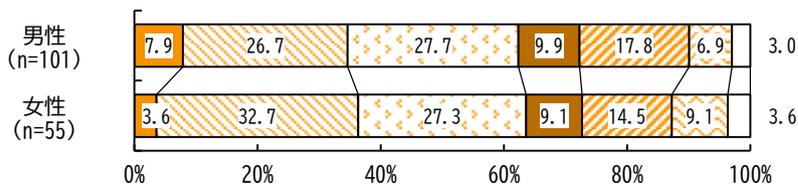


≪ 女性 ≫



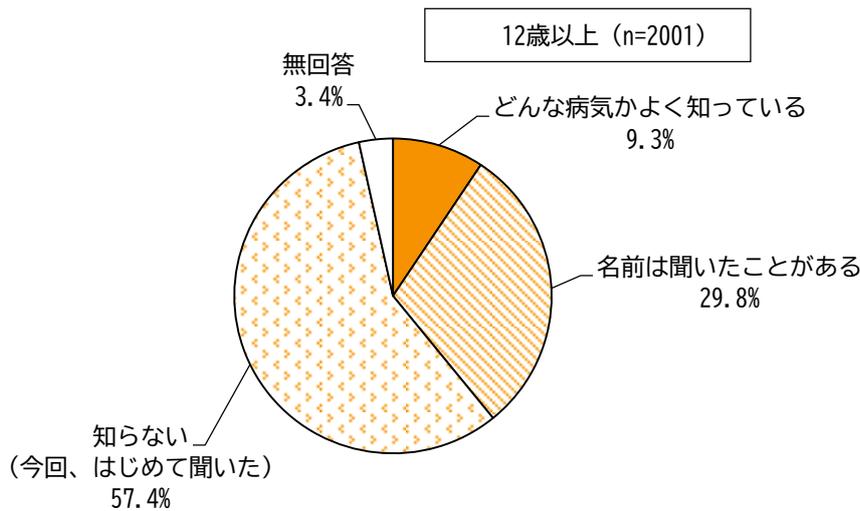
- ◆ 『喫煙経験あり』（吸っている＋過去に吸っていた）が、女性より男性で高くなっています。
- ◆ 年代別にみると、壮年期・中年期の男性では「吸っている」が2割を超えて高くなっています。

タバコをやめたいと思いますか。



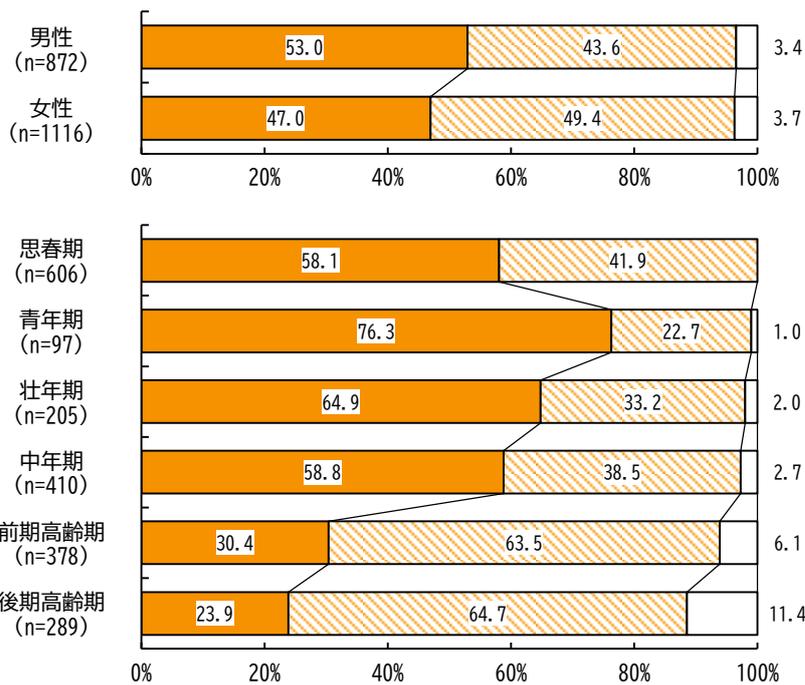
- ◆ 男女ともに『禁煙意向がある』（すぐにやめたい＋いずれはやめたい＋楽にやめられるならやめたい）が6割以上となっています。

COPD（慢性閉塞性肺疾患）という病気を知っていますか。



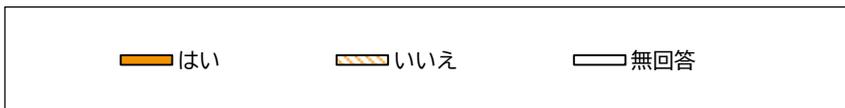
◆ 「どんな病気がよく知っている」は1割程度となっており、「名前は聞いたことがある」と合わせても4割程度と認知度は低くなっています。

あなたは過去1年間で受動喫煙にあいましたか。



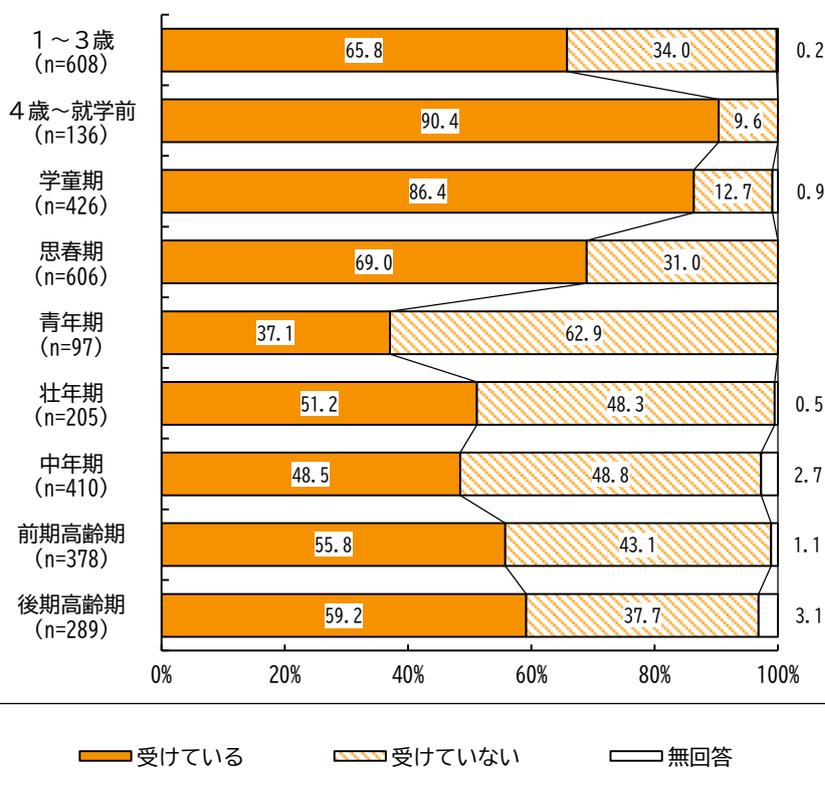
◆ 「はい (あった)」が、女性に比べて男性でやや高くなっています。

◆ 年代別にみると、「はい (あった)」が、青年期で7割以上となっています。



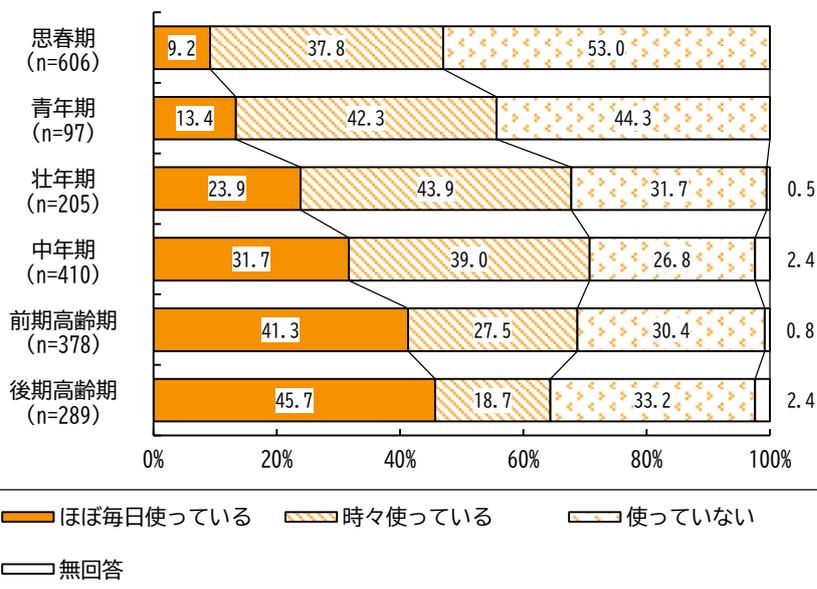
# 歯・口

年に1回以上定期的に歯科健診を受けていますか。



- ◆ 青年期を除いた各年代の4割以上が、定期的に歯科健診を「受けている」と回答しています。
- ◆ 青年期では、6割以上が「受けていない」と回答しています。

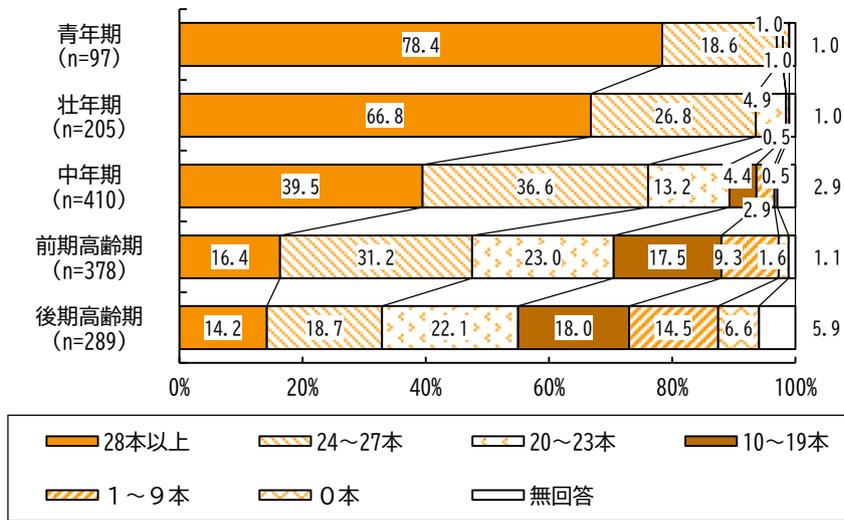
デンタルフロス(糸)や歯間ブラシなど、歯と歯の間を清掃するための器具を使っていますか。



- ◆ 年代が上がるほど、歯と歯の間を清掃するための器具(デンタルフロスなど)を「ほぼ毎日使っている」割合が高くなる傾向がみられます。

現在、親知らずを除いて、自分の歯は何本ありますか。

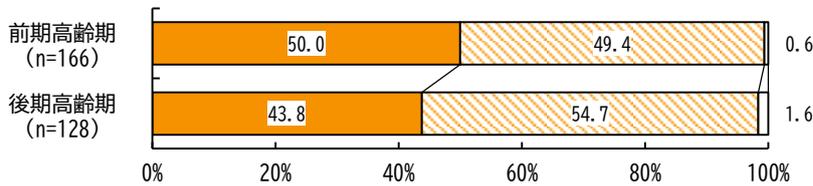
(親知らずを除いて全部はえている場合は28本。差し歯など歯の根がある歯は本数に含む。取りはずしの入れ歯やインプラント、ブリッジは本数に含まない。)



◆ 年代が上がるほど、歯の本数が少なくなる傾向がみられます。

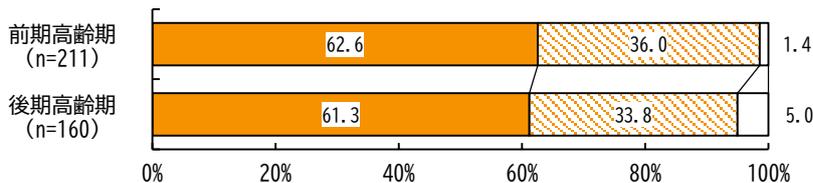
肺炎（誤嚥性肺炎）の予防について知っていますか。

≪ 男性 ≫

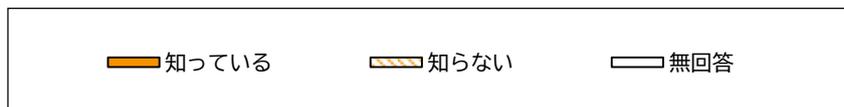


◆ 男性に比べて、女性で肺炎（誤嚥性肺炎）の予防について「知っている」割合が高くなっています。

≪ 女性 ≫

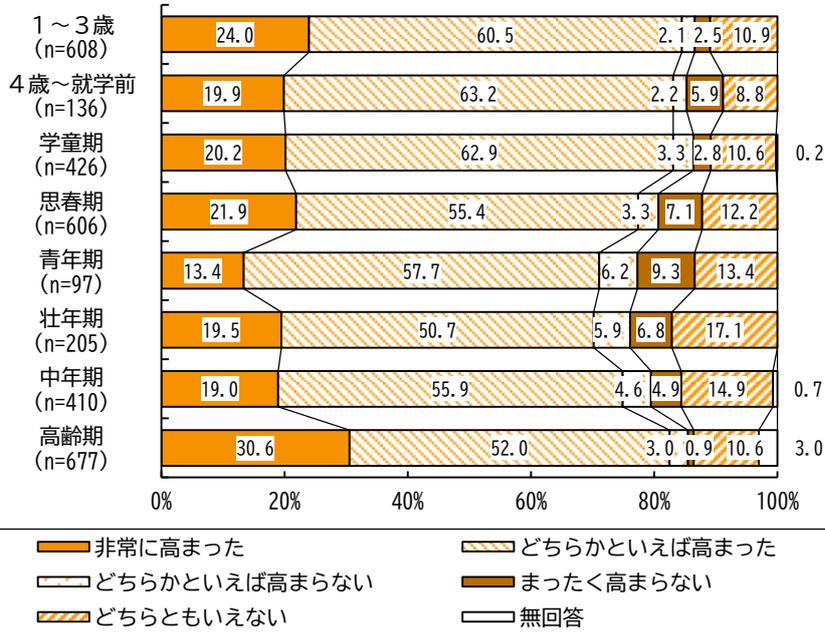


◆ 男性の後期高齢期では、半数以上が「知らない」と回答しています。



# コロナウイルス感染症の流行と生活の変化

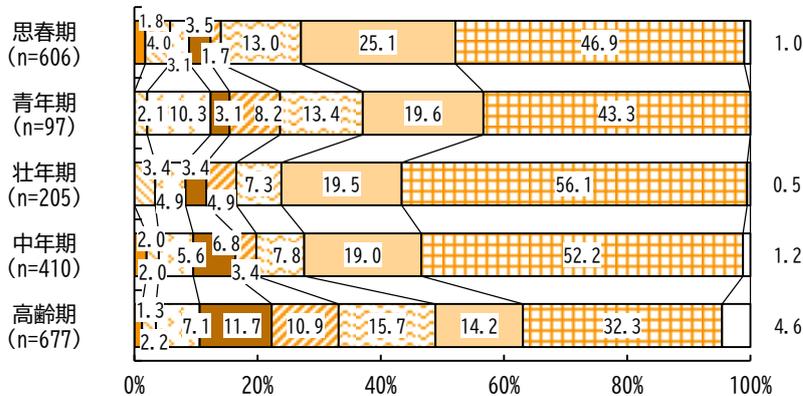
新型コロナウイルス感染症の流行により、健康への意識は高まりましたか。



◆ すべての年代で『高まった』（非常に高まった+どちらかといえば高まった）が6割を超えて高くなっています。

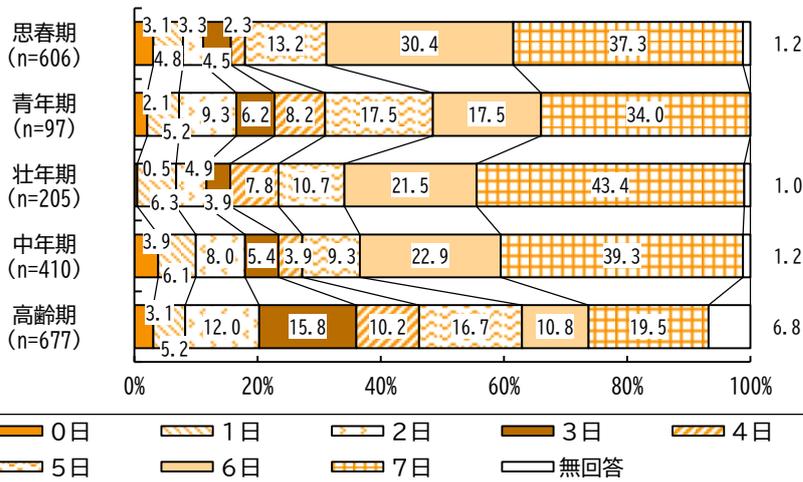
次の時期について、週に何日程度外出していましたか。（していますか。）

◀ 新型コロナウイルス感染症流行前 ▶



◆ すべての年代で9割以上が1日以上外出し、「7日」が3割を超えています。

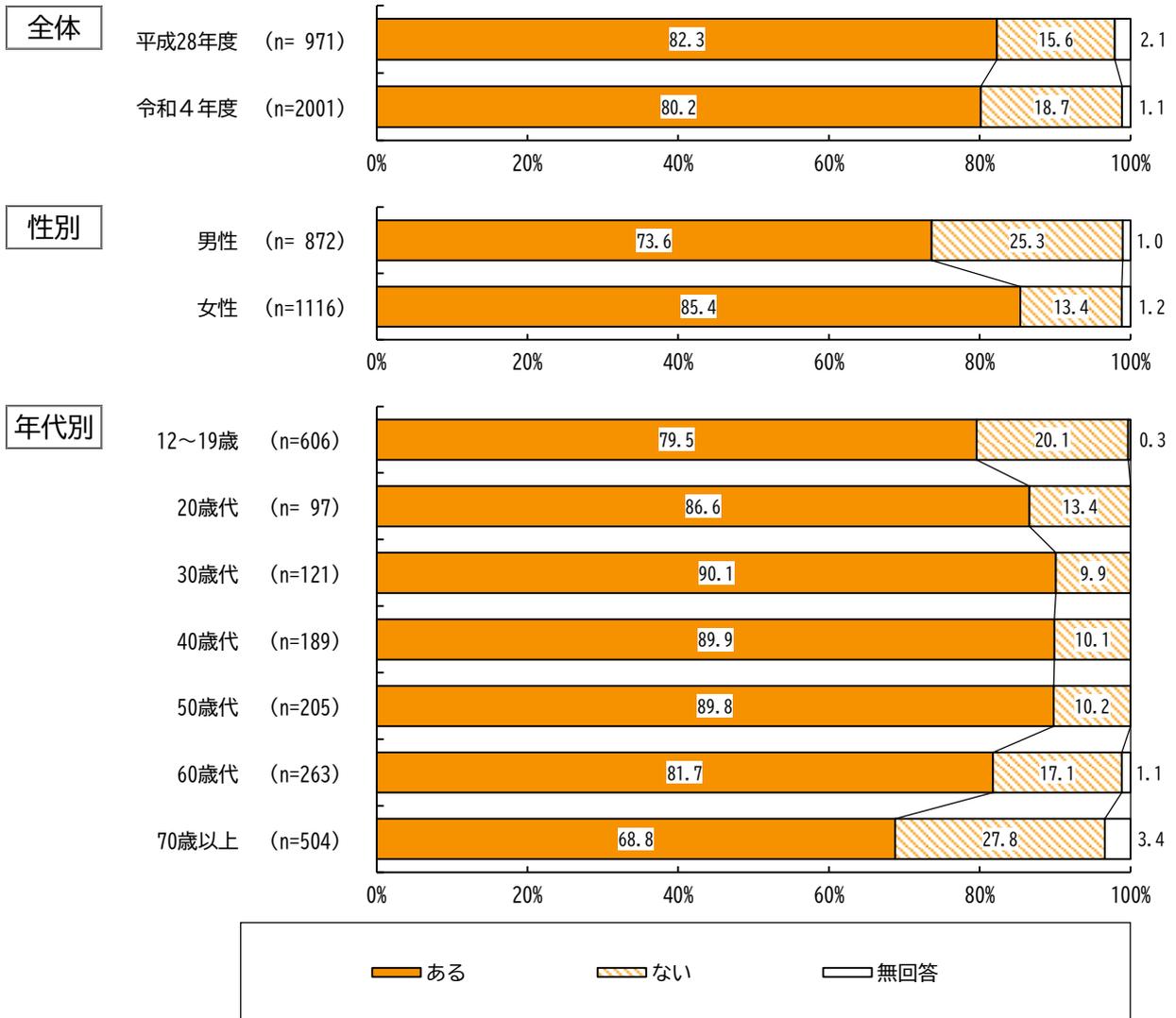
◀ 現時点（アンケート回答時） ▶



◆ 新型コロナウイルス感染症流行前と比べ、現時点では、ほとんどの年代で「0日」の割合が増加し、『6～7日』の割合が減少しています。

# 食育

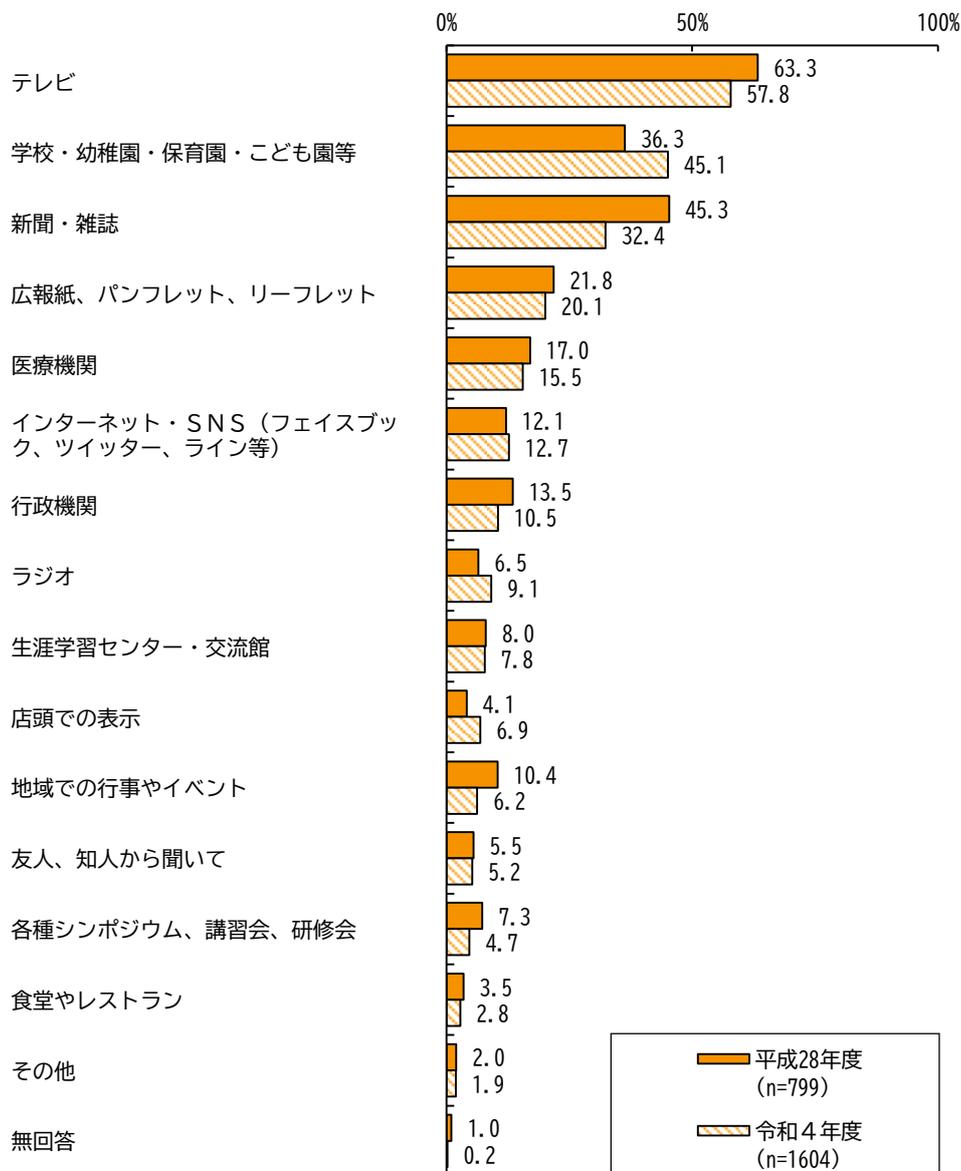
「食育」という言葉を聞いたり、文字を見たことがありますか。



- ◆ 食育の認知度は、「ある（聞いたり見たりしたことがある）」が8割を超え、平成28年度と同様の傾向となっています。
- ◆ 性別では、男女とも「ある（聞いたり見たりしたことがある）」が「ない（聞いたりみたりしたことがない）」よりも高くなっています。
- ◆ 年代別では、70歳以上においては「ない（聞いたりみたりしたことがない）」が27.8%と、他の年代と比べてやや高くなっています。

どこで聞いたり、見たりしましたか。(複数回答)

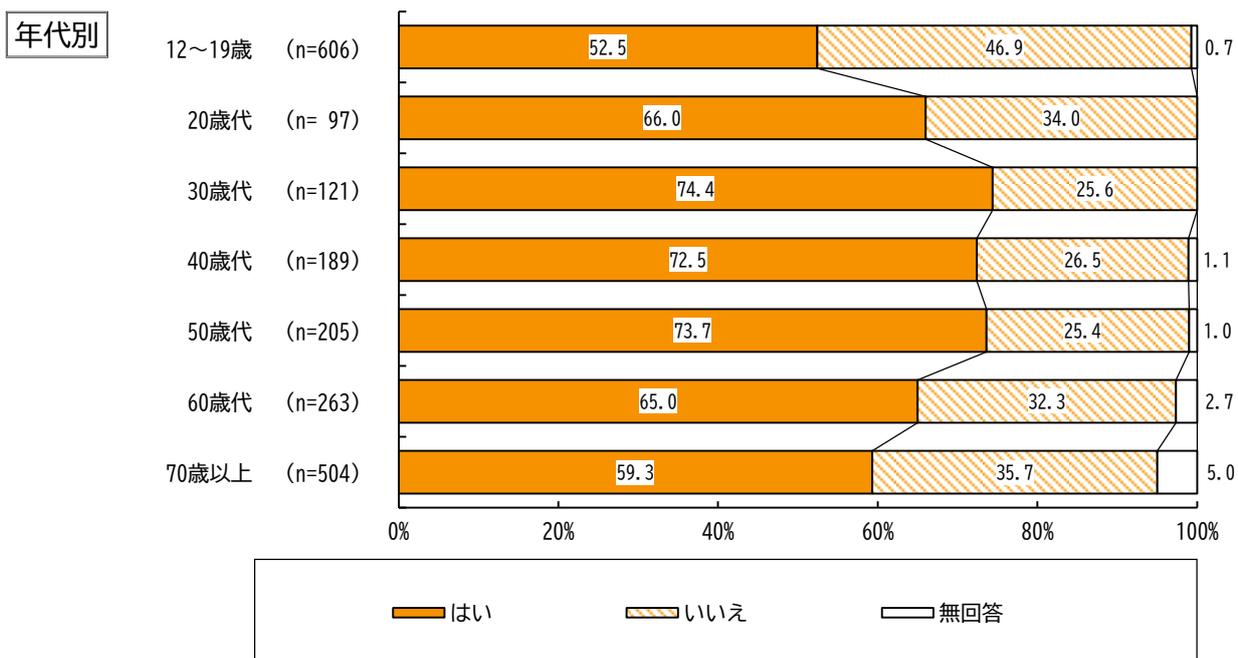
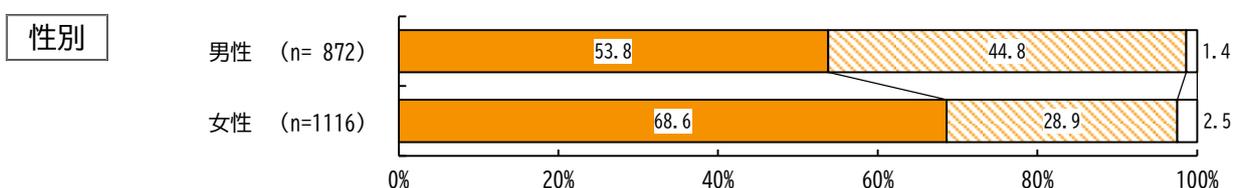
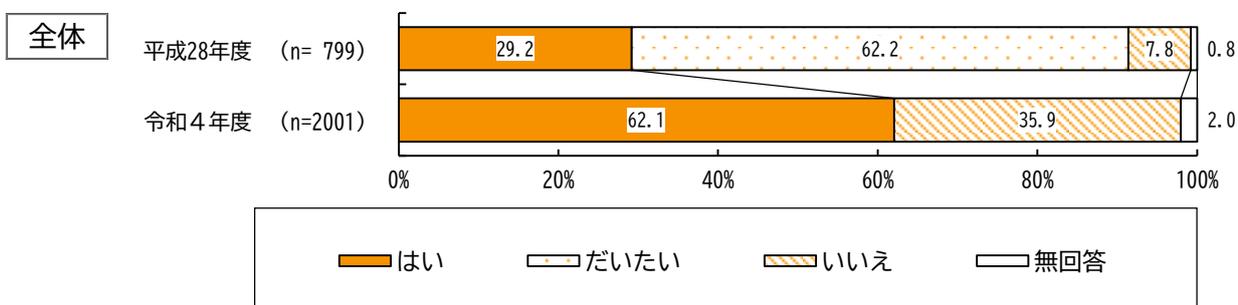
※「食育」という言葉を見聞きしたことがある人のみの回答



- ◆ 食育の認知経路は、「テレビ」が最も多く57.8%、次いで「学校・幼稚園・保育園・こども園等」が45.1%となっています。
- ◆ 平成28年度と比べて「学校・幼稚園・保育園・こども園等」の割合が増え、「新聞・雑誌」の割合が減っています。

## 「食育\*」の意味を知っていますか。

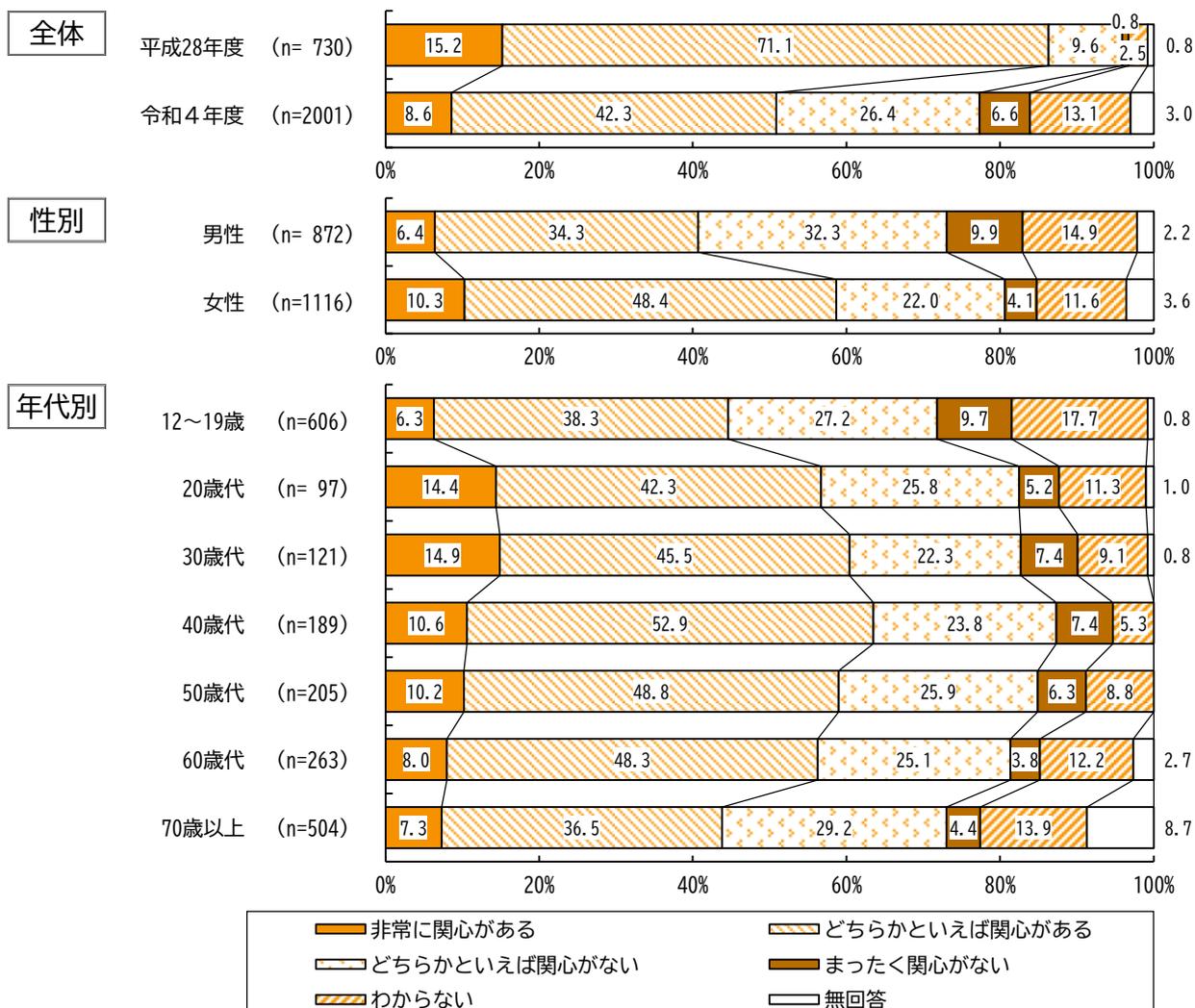
\*「食育」とは生きる上での基本であり、様々な経験を通して食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。



※選択肢「だいたい」は平成28年度調査のみ

- ◆ 食育の意味の認知は、「はい（知っている）」が半数を超えています。
- ◆ 性別では、男女とも「はい（知っている）」が「いいえ（知らない）」よりも高くなっていますが、男性に比べて女性で「はい（知っている）」が高くなる傾向がみられます。
- ◆ 年代別では、12~19歳においては「いいえ（知らない）」が46.9%と、他の年代と比べてやや高くなっています。

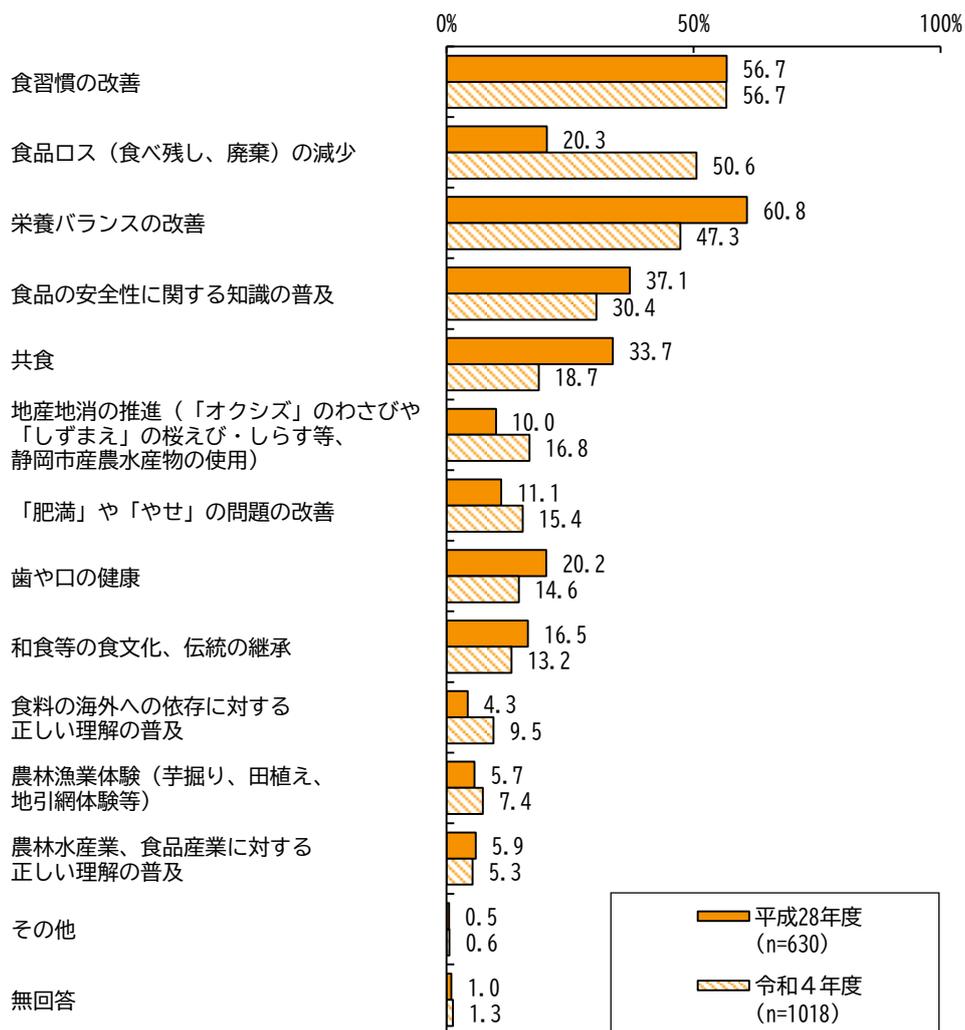
「食育」に関心がありますか。



- ◆ 食育への関心は、『関心がある』（非常に関心がある+どちらかといえば関心がある）が50.9%、『関心がない』（どちらかといえば関心がない+まったく関心がない）が33.0%となっています。
- ◆ 平成28年度と比べて『関心がある』の割合が減り、『関心がない』の割合が増えています。
- ◆ 性別にみると、男性に比べて女性で『関心がある』が高くなる傾向がみられます。
- ◆ 年代別にみると、40歳代で『関心がある』が63.5%と、他の年代と比べてやや高くなっています。
- ◆ 指標となっている「非常に関心がある」または「どちらかといえば関心がある」を合わせた20～30歳の割合は58.7%となっており、全体と比べてやや高くなっています。

「食育」をすすめるうえで、重要なこと、必要なことは何ですか。（複数回答）

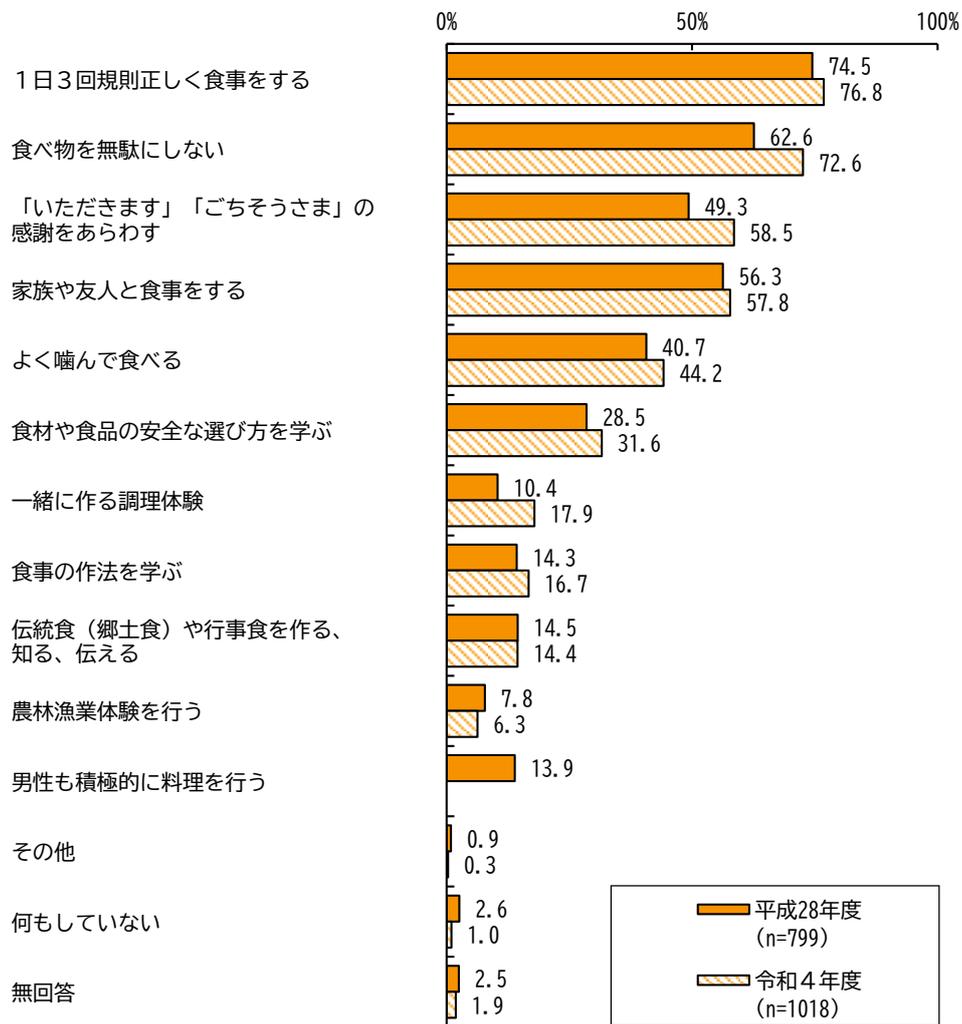
※食育に関心がある人のみの回答



- ◆ 食育を推進する上での重要事項は、「食習慣の改善」が最も多く56.7%、次いで「食品ロス（食べ残し、廃棄）の減少」が50.6%となっています。
- ◆ 平成28年度と比べて「食品ロス（食べ残し、廃棄）の減少」の割合が増え、「栄養バランスの改善」や「共食」の割合が減っています。

次のようなことも「食育」ですが、おこなっていることがありますか。(複数回答)

※食育に関心がある人のみの回答

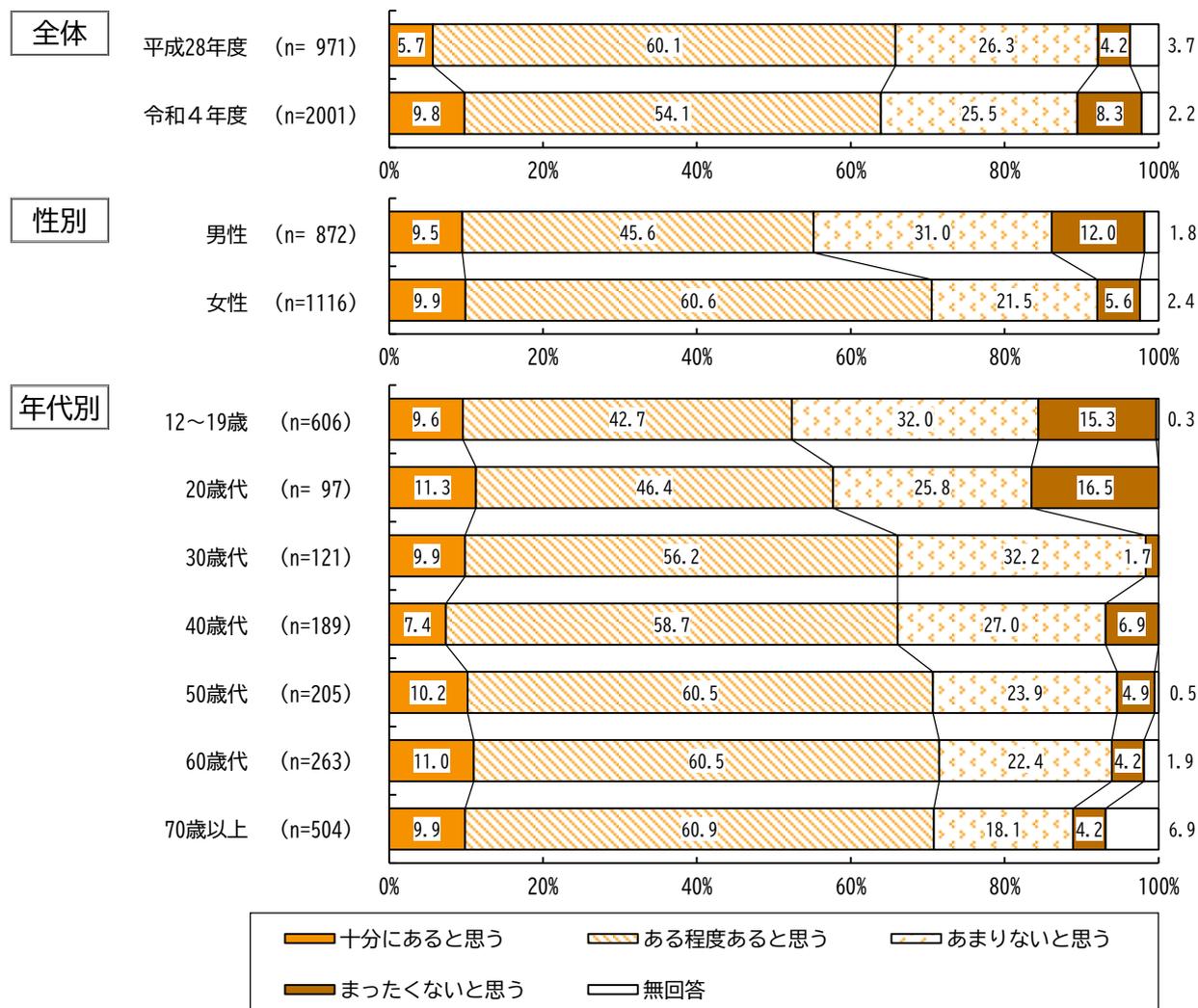


※選択肢「男性も積極的に料理を行う」は令和4年度は調査なし

- ◆ 食育として実施していることは、「1日3回規則正しく食事をする」が最も多く76.8%、次いで「食べ物を無駄にしない」が72.6%となっています。
- ◆ 平成28年度と比べて「食べ物を無駄にしない」や「「いただきます」「ごちそうさま」の感謝をあらわす」の割合が増えています。

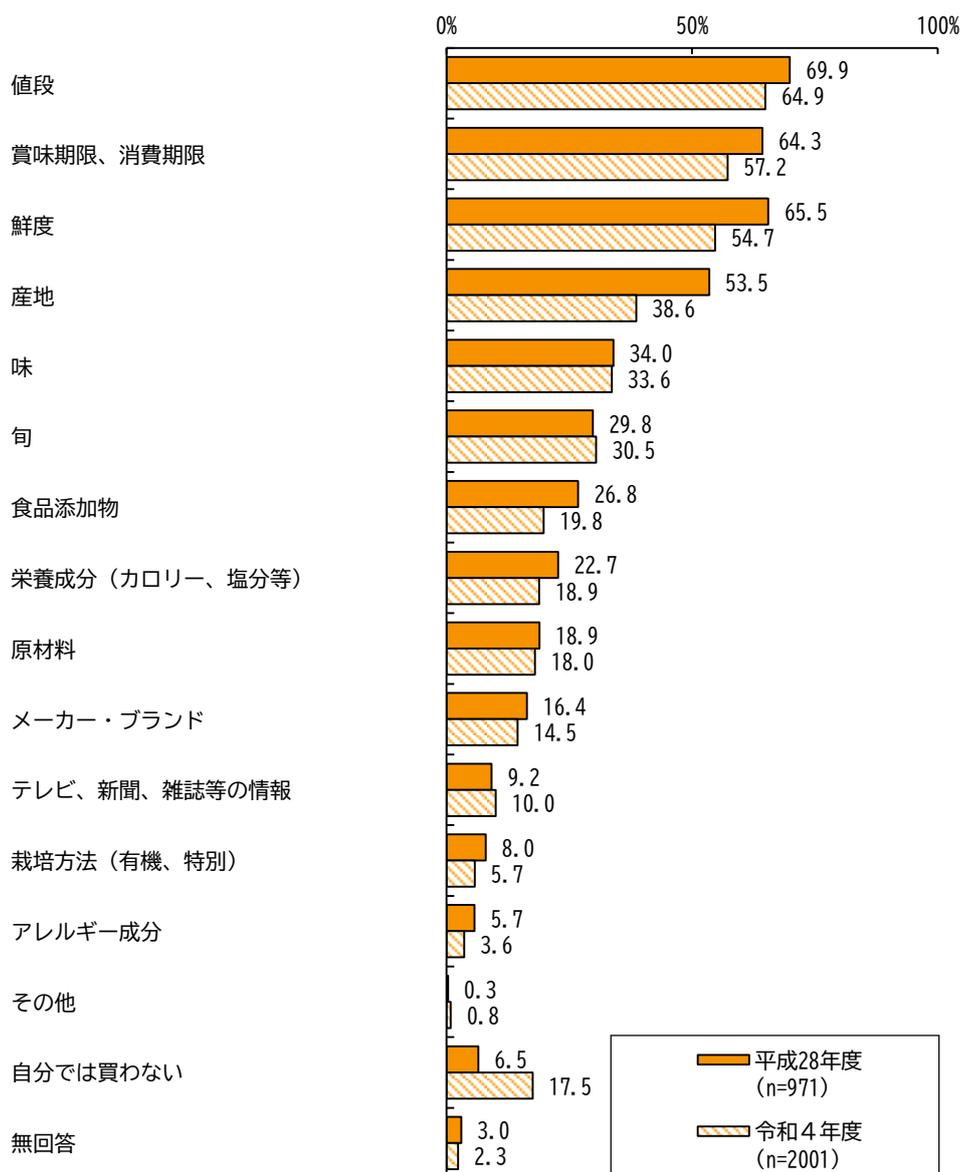
日常生活に困らない位の食品の安全に関する知識\*をもっていますか。

\*健康に悪影響を与えないようにするために、どのような食品を選んだらよいかや、どのような調理が必要かの知識



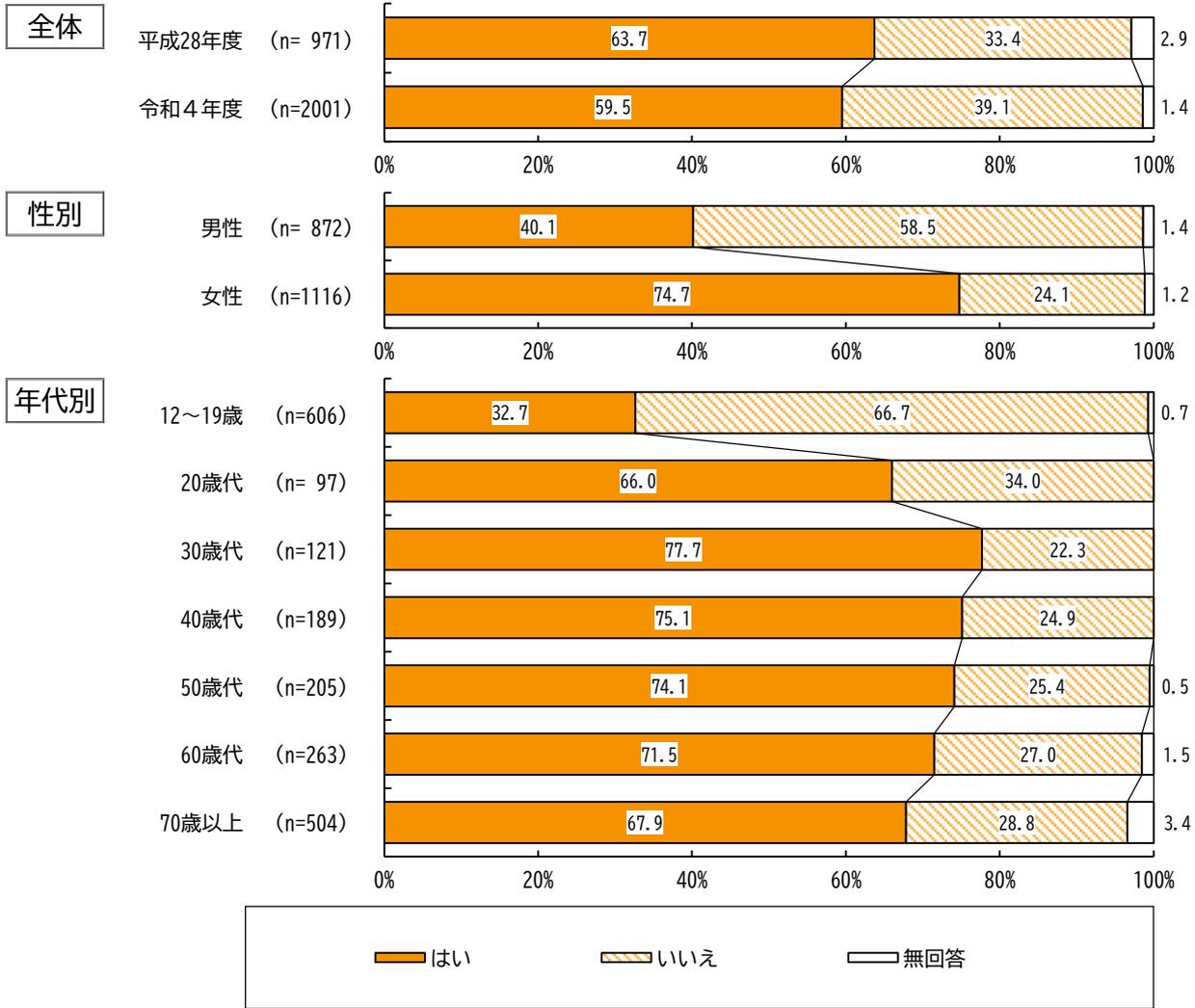
- ◆ 食品の安全に関する知識は、『あると思う』（十分にあると思う+ある程度あると思う）が6割を超え、平成28年度と同様の傾向となっています。
- ◆ 性別では、男性に比べて女性で『あると思う』が高い傾向がみられます。
- ◆ 年代別では、年代が上がるにつれて『あると思う』が高くなる傾向がみられます。
- ◆ 指標となっている「十分にあると思う」または「ある程度あると思う」を合わせた割合は63.9%と6割を超えています。

何を意識して食品を購入していますか。(複数回答)



- ◆ 食品の選択基準は、「値段」が最も多く64.9%、次いで「賞味期限、消費期限」が57.2%となっています。
- ◆ 平成28年度と比べて「値段」や「賞味期限、消費期限」、「鮮度」、「産地」など上位の項目の割合が減っています。

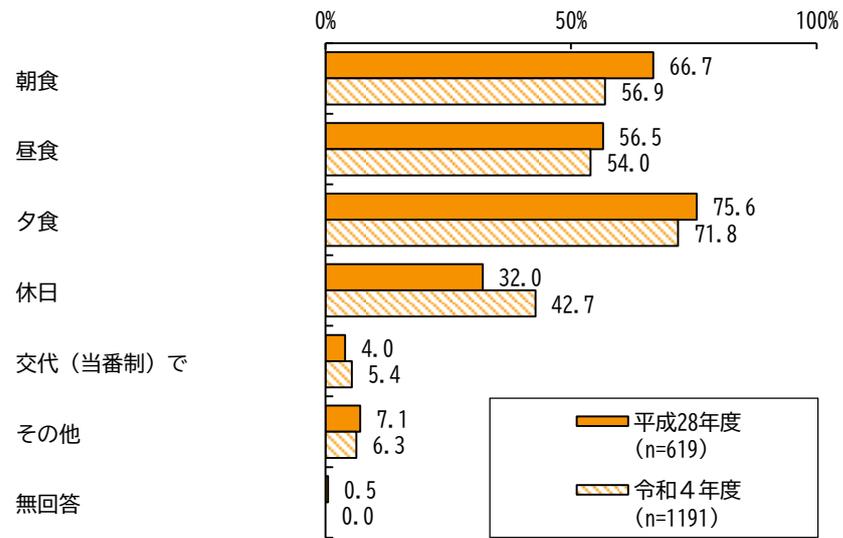
あなたは食事を作りますか。



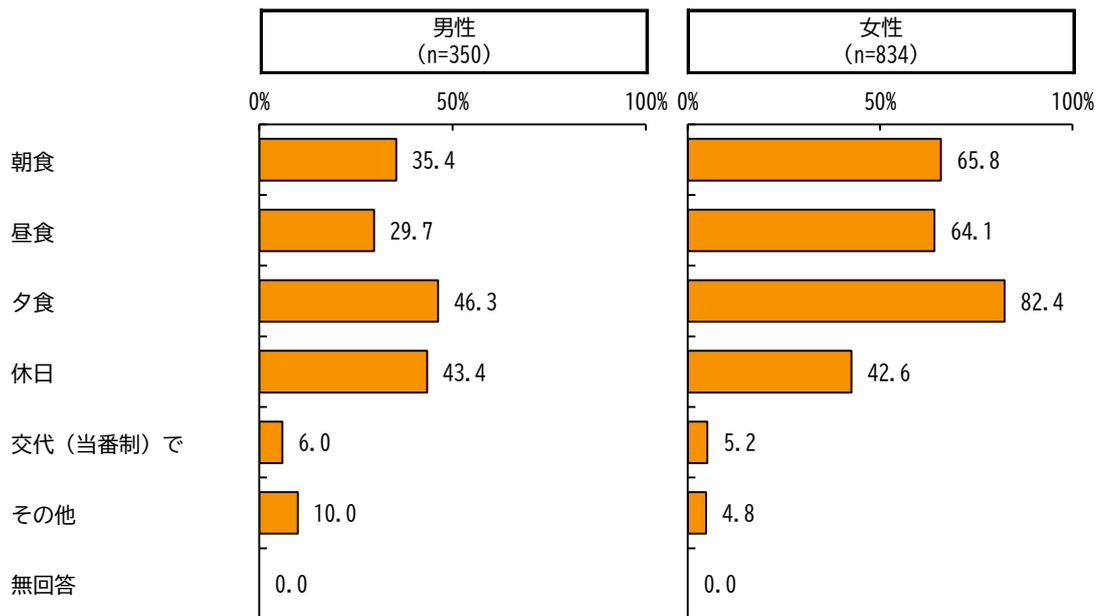
- ◆ 料理の頻度は、「はい（作る）」が半数を超え、平成28年度と同様の傾向となっています。
- ◆ 性別では、男性では「いいえ（作らない）」が半数を超え、女性では「はい（作る）」が半数を超えています。
- ◆ 年代別では、12~19歳において「いいえ（作らない）」が66.7%と、他の年代と比べて高くなっています。

どのような時に作りますか。(複数回答)

※料理を作る人のみの回答

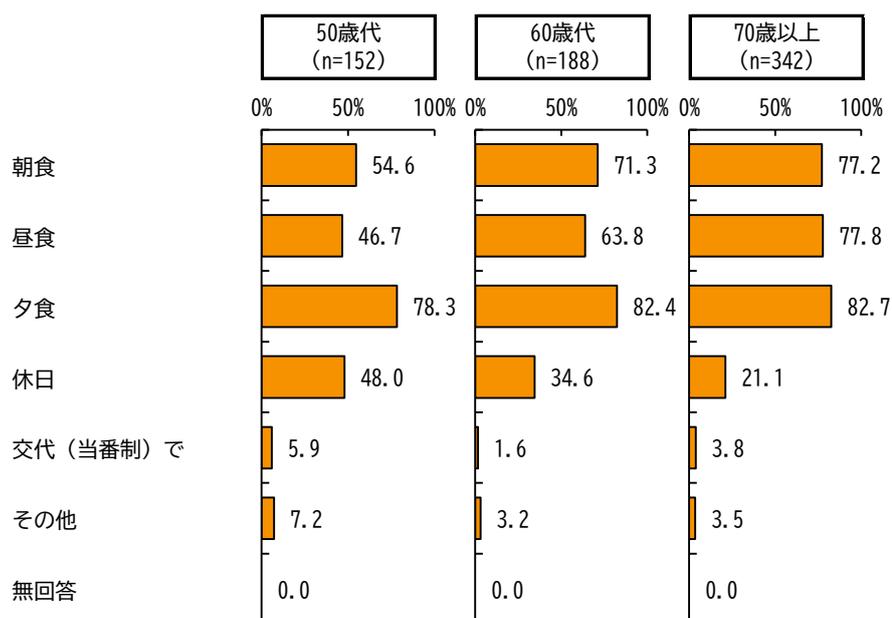
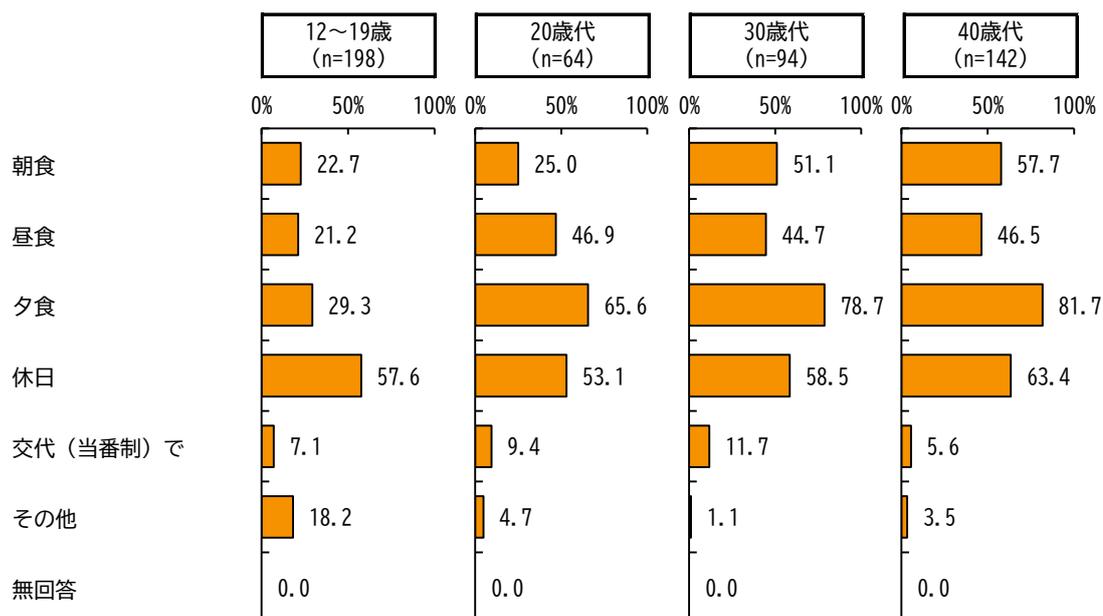


性別



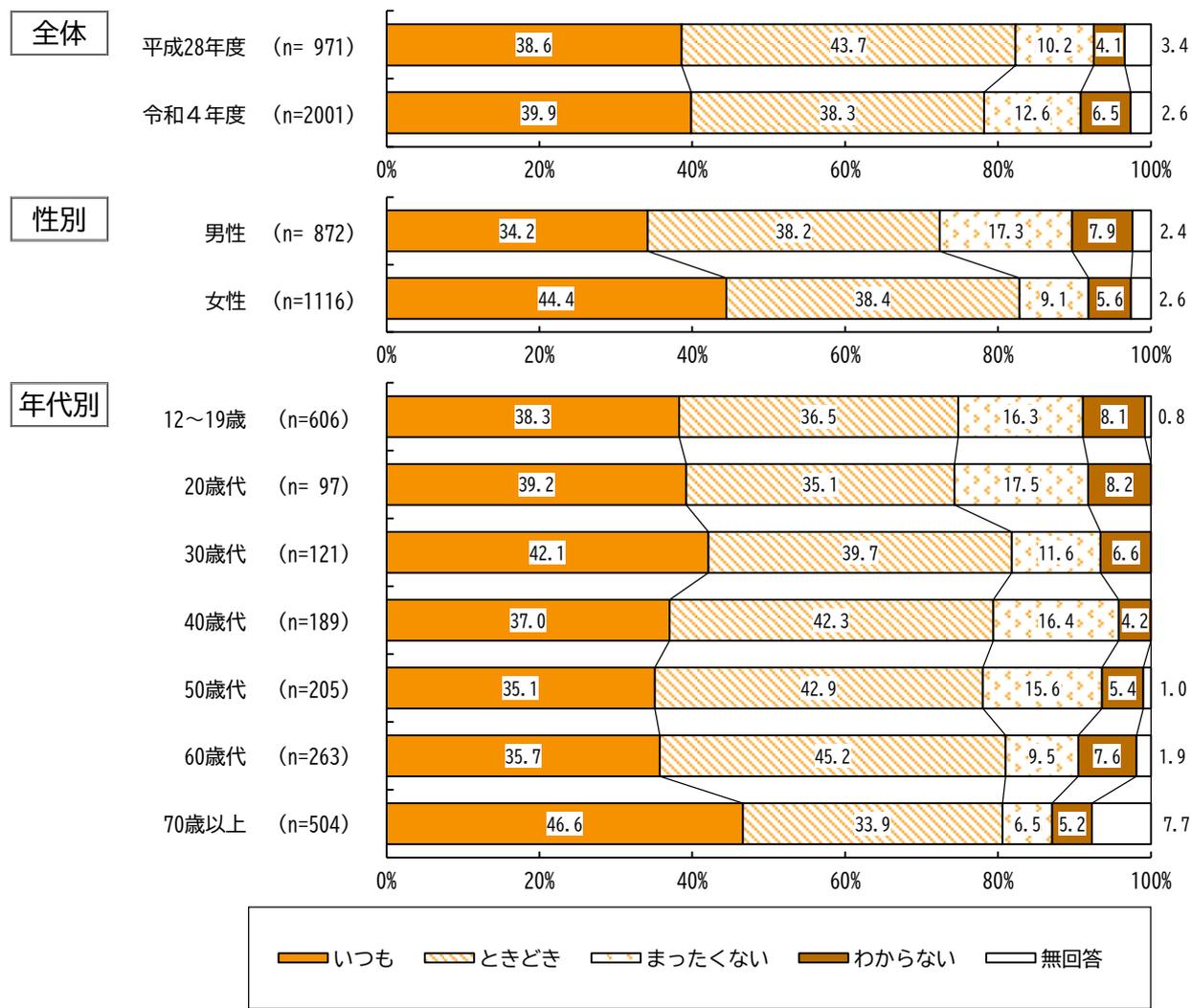
- ◆ 料理の機会は、「夕食」が最も多く71.8%、次いで「朝食」が56.9%となっています。
- ◆ 平成28年度と比べて「休日」の割合が増え、「朝食」の割合が減っています。
- ◆ 性別では、男女とも「夕食」が最も高くなっています。

年代別



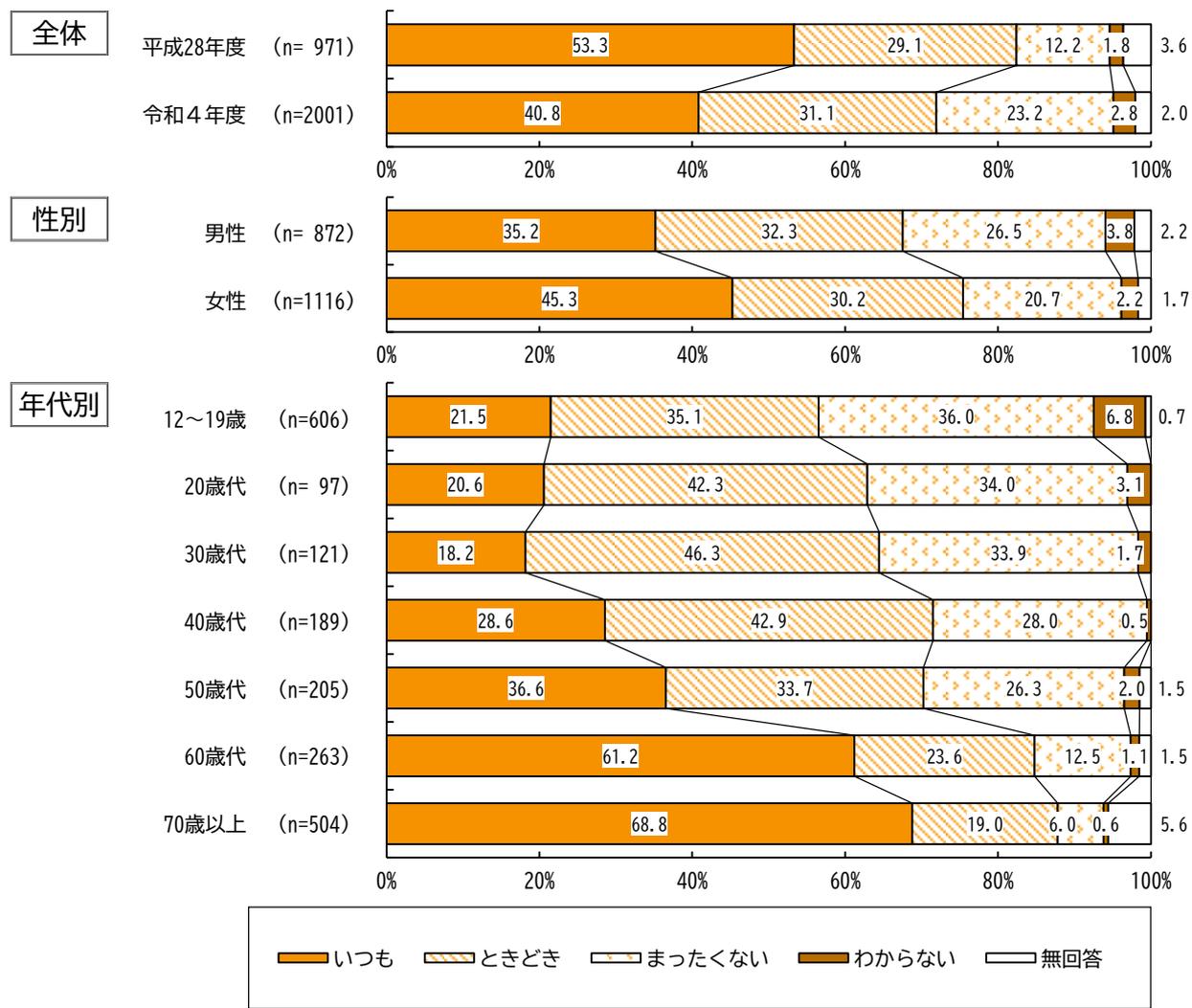
◆ 年代別では、12~19歳においては「休日」が最も高く、20歳代以上は「夕食」が最も高くなっています。

食べ方に関心がある（よく噛む、味わう）について、あてはまるものはどれですか。



- ◆ 食べ方に関心がある（よく噛む、味わう）は、「いつも」＋「ときどき」が約8割と、平成28年度と同様の傾向となっています。
- ◆ 性別では、男性に比べて女性で「いつも」＋「ときどき」が高い傾向がみられます。
- ◆ 年代別では、70歳以上においては「いつも」が46.6%と、他の年代と比べてやや高くなっています。
- ◆ 指標となっている「いつも」と回答した割合は39.9%と約4割となっています。

茶葉からいれた緑茶を飲むについて、あてはまるものはどれですか。

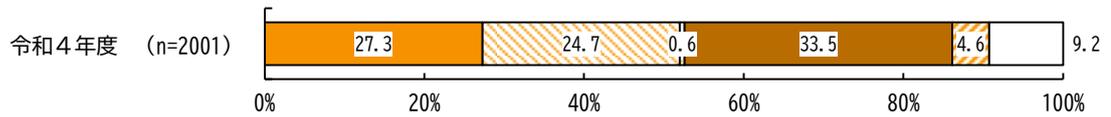


- ◆ 茶葉からいれた緑茶を飲むは、「いつも」 + 「ときどき」が約7割と、平成28年度と比べてやや減っています。
- ◆ 性別では、男性に比べて女性で「いつも」が高い傾向がみられます。
- ◆ 年代別では、年代が上がるにつれて「いつも」 + 「ときどき」が高くなる傾向がみられます。
- ◆ 指標となっている「いつも」と回答した人の割合は40.8%となっています。

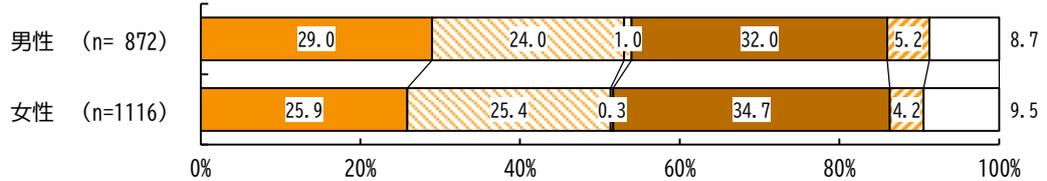
1週間（7日間）の食事のうち、あなたがとっている朝食や夕食は、どなたと一緒に何回食べる人が多いですか。

◀ 朝食 ▶

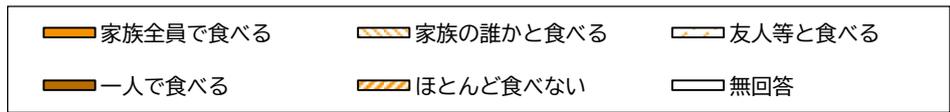
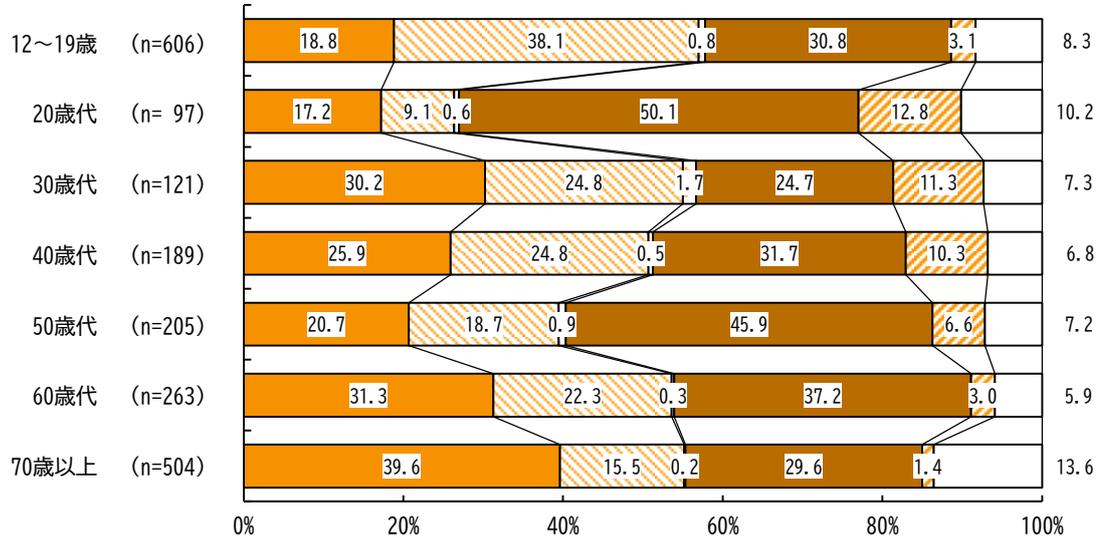
全体



性別



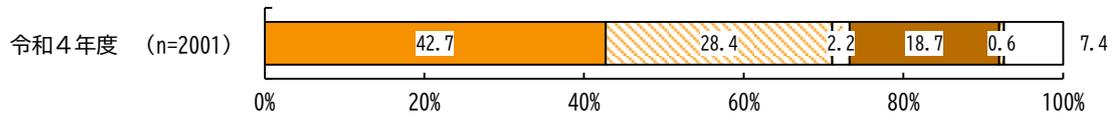
年代別



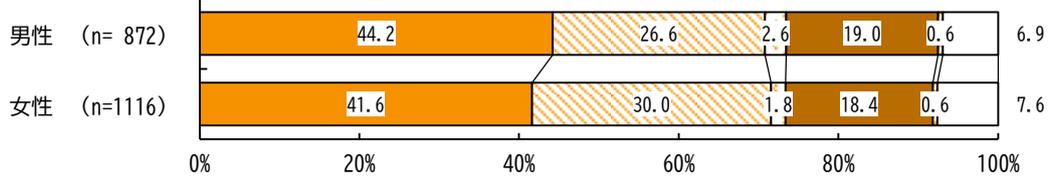
- ◆ 共食形態（朝食）は、「一人で食べる」が最も多く33.5%、次いで「家族全員で食べる」が27.3%となっています。
- ◆ 性別では、男女とも同様の傾向となっています。
- ◆ 年代別では、20歳代で「家族の誰かと食べる」が9.1%と他の年代と比べて低く、また「一人で食べる」が半数を超え、他の年代と比べて高くなっています。

◀ 夕食 ▶

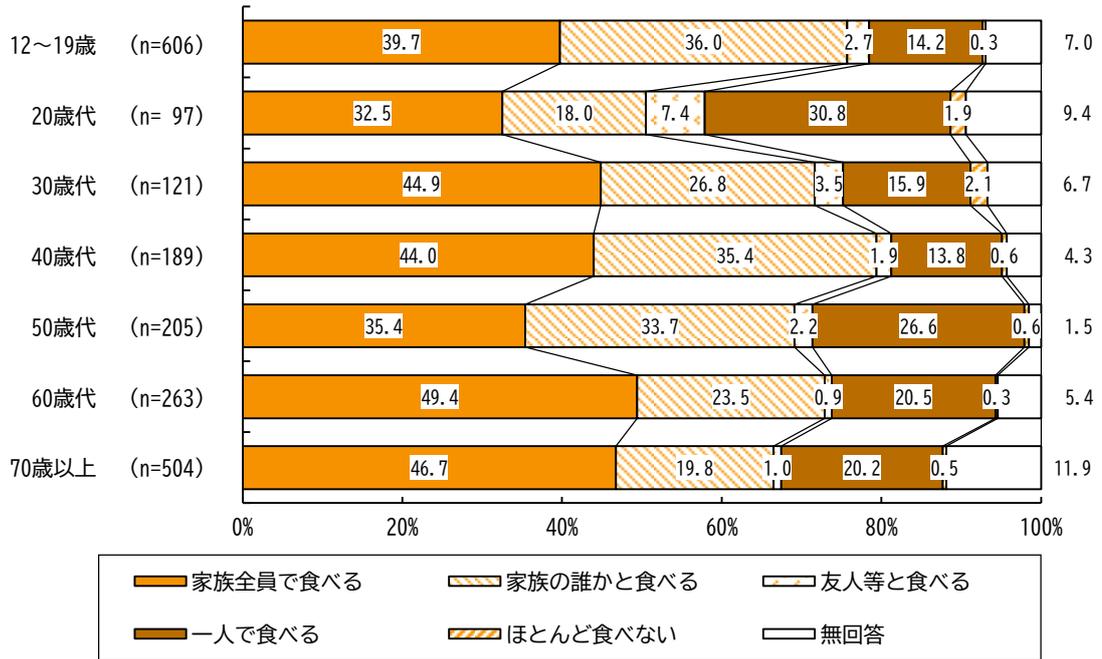
全体



性別

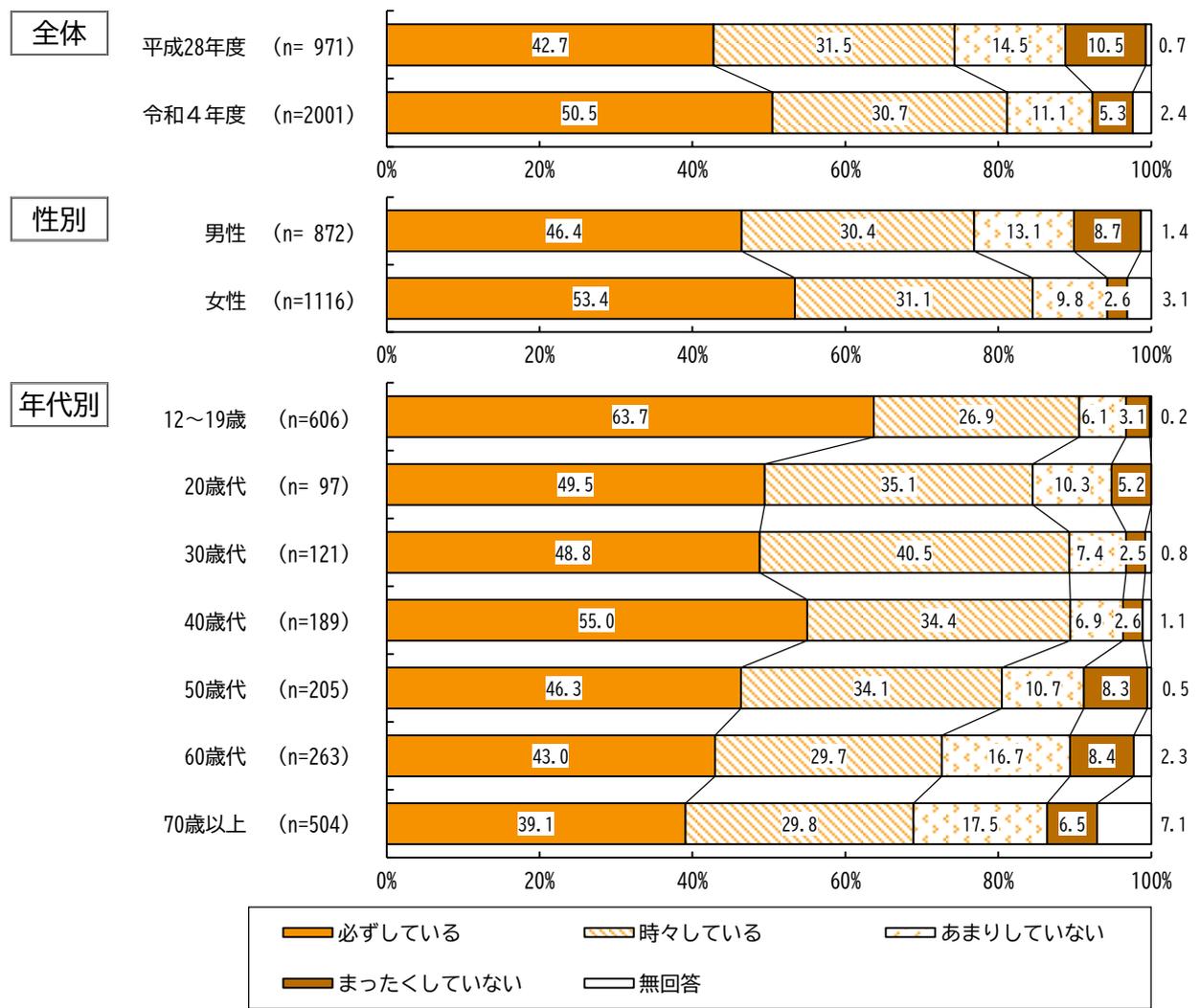


年代別



- ◆ 共食形態(夕食)は、「家族全員で食べる」が最も多く42.7%、次いで「家族の誰かと食べる」が28.4%となっています。
- ◆ 性別では、男女とも同様の傾向となっています。
- ◆ 年代別では、20歳代で「家族の誰かと食べる」が18.0%と、他の年代と比べて低くなっています。

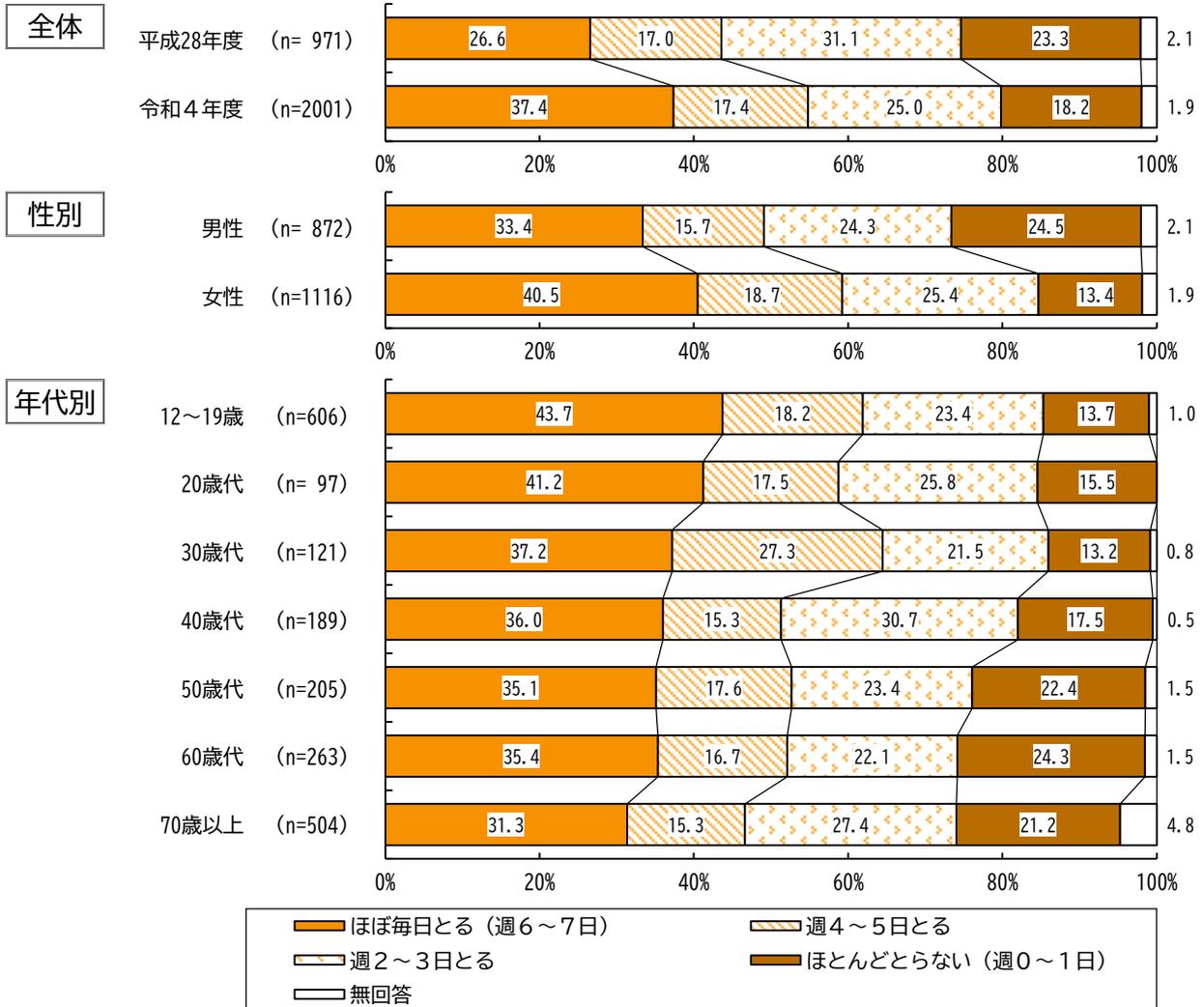
あなたは食事のあいさつ「いただきます」「ごちそうさま」をしていますか。



- ◆ 食事の挨拶の有無は、『している』（必ずしている+時々している）が約8割と、平成28年度と比べて高くなっています。
- ◆ 性別では、男性に比べて女性で『している』が高い傾向がみられます。
- ◆ 年代別では、12~19歳においては「必ずしている」が63.7%と、他の年代と比べてやや高くなっています。

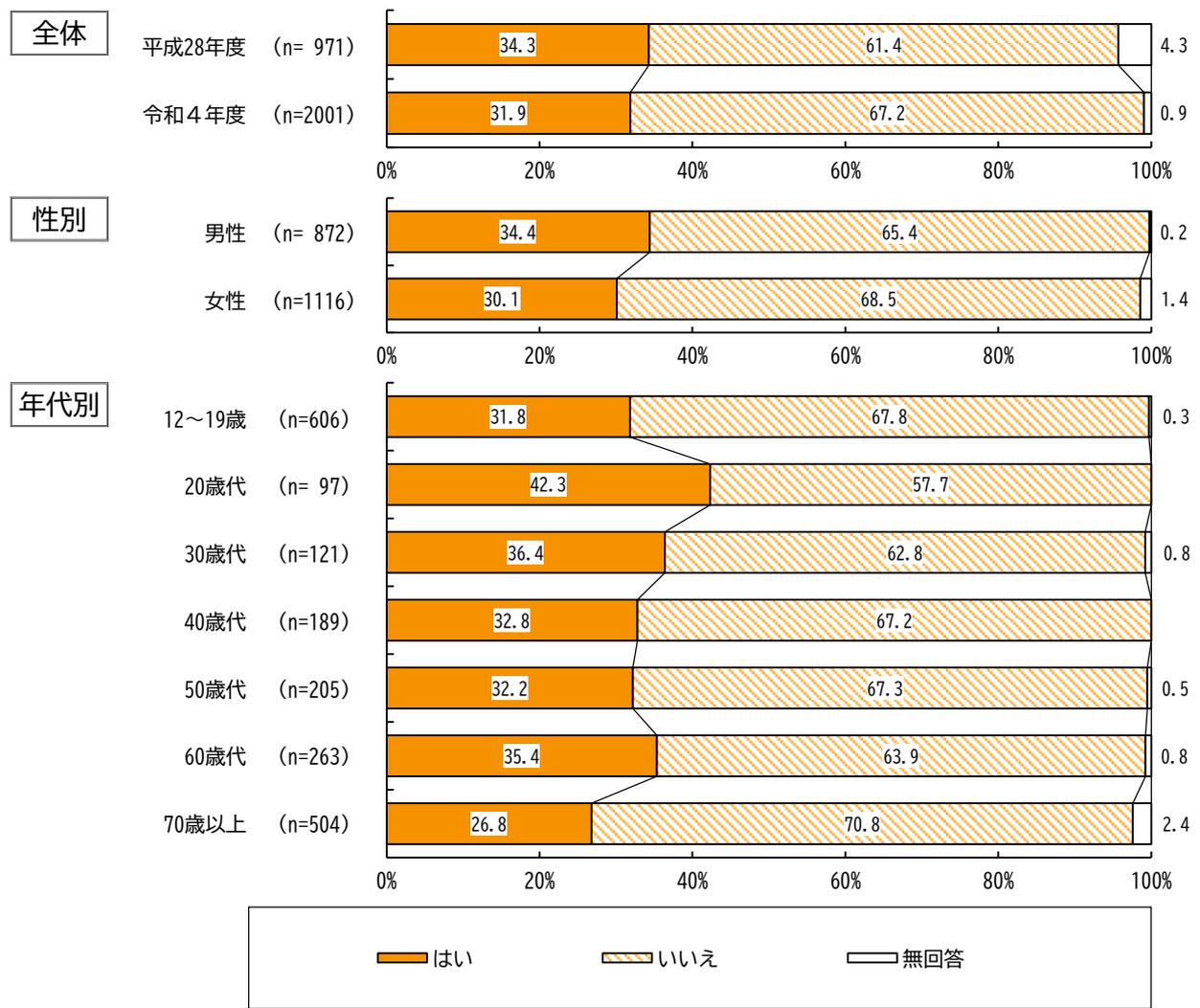
あなたは間食\*をとりますか。

\*間食とは、朝食、昼食、夕食以外に摂取するエネルギー源となる食べ物や飲み物（お菓子・嗜好飲料[ジュースやお酒]・果物・おにぎり・パン・ファストフード等）のこと



- ◆ 間食の摂取状況は、「ほぼ毎日とる (週6~7日)」が約4割と、平成28年度の「毎日食べる」と比べて高くなっています。
- ◆ 性別では、男性に比べて女性で「ほぼ毎日とる (週6~7日)」が高くなる傾向がみられます。
- ◆ 年代別では、年代が上がるほど「ほぼ毎日とる (週6~7日)」が低くなっています。

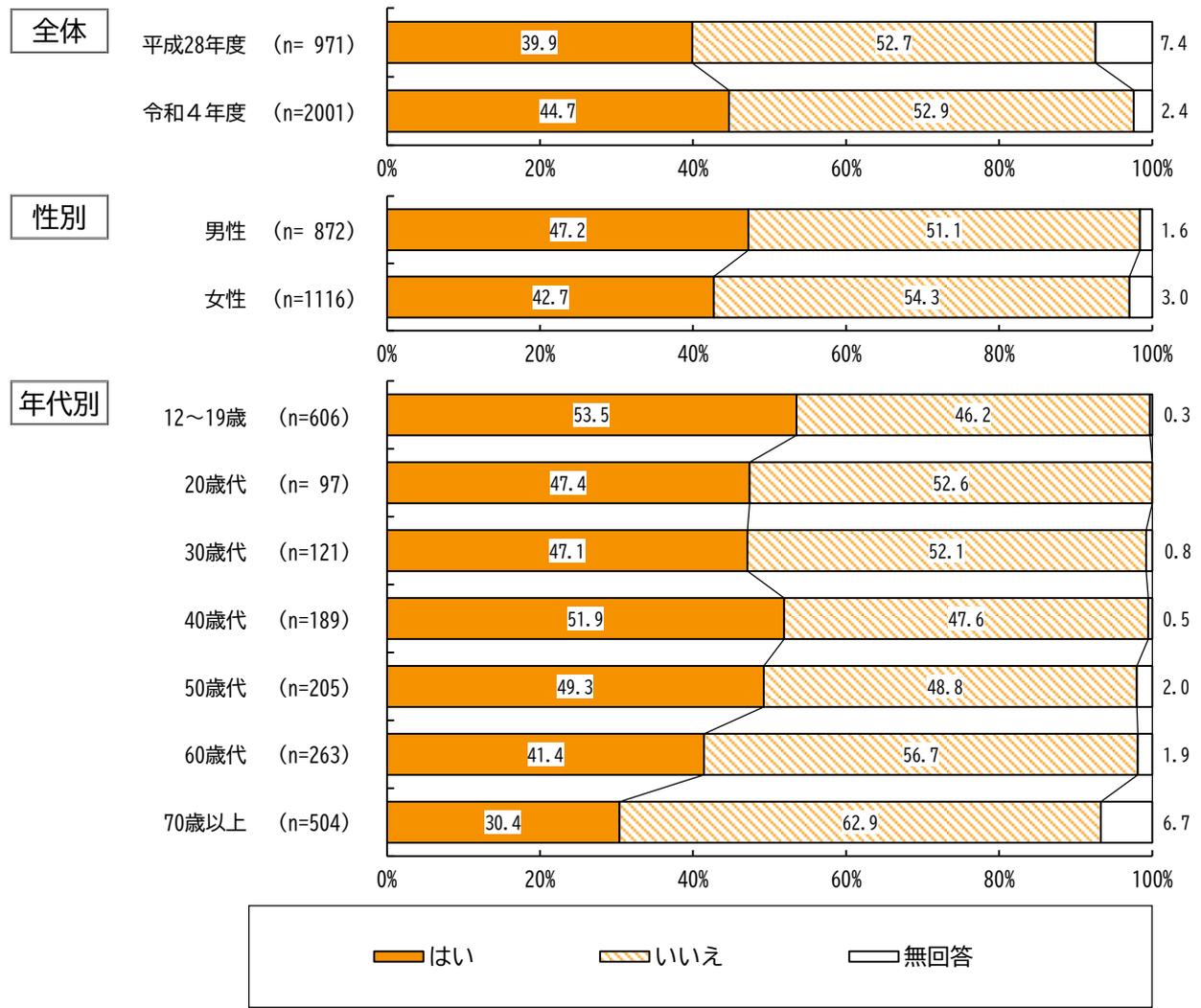
農林漁業体験をしたことがありますか。



- ◆ 農林漁業体験の有無は、「はい（したことがある）」が約3割と、平成28年度と比べてやや減っています。
- ◆ 性別では、男女とも同様の傾向となっています。
- ◆ 年代別では、20歳代においては「はい（したことがある）」が42.3%と、他の年代と比べてやや高くなっています。
- ◆ 指標となっている「はい（したことがある）」と回答した人の割合は31.9%となっています。

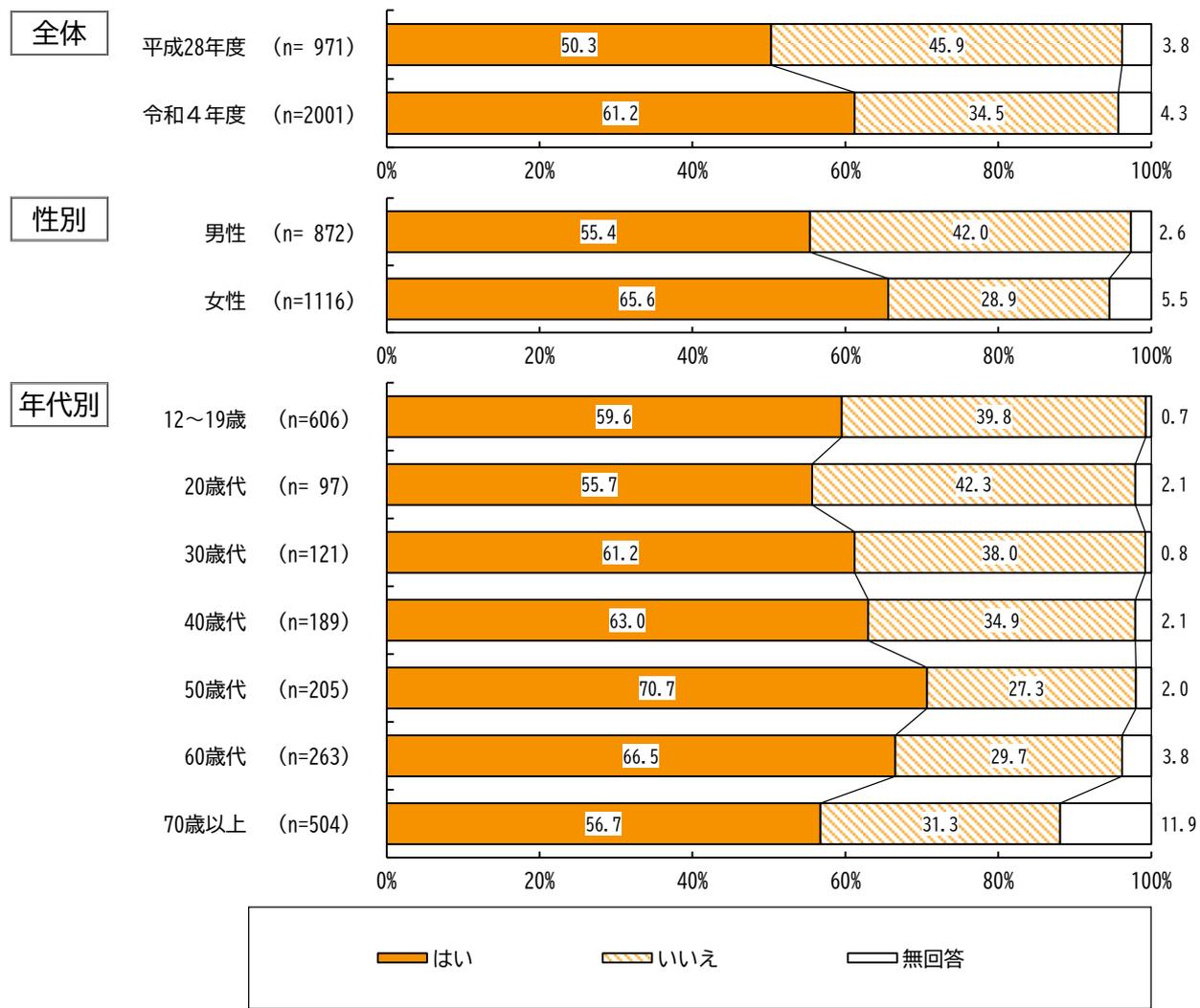
あなたは前問\*のような体験をする機会があれば参加したいと思いますか。

\* 自宅や家族、親戚が農家・漁師等、家庭菜園や趣味で釣りをやっている、学校や保育園での体験、オーナー制度などでの体験、体験農業・漁業体験などへの参加、観光農園などイベントや旅行で体験、その他



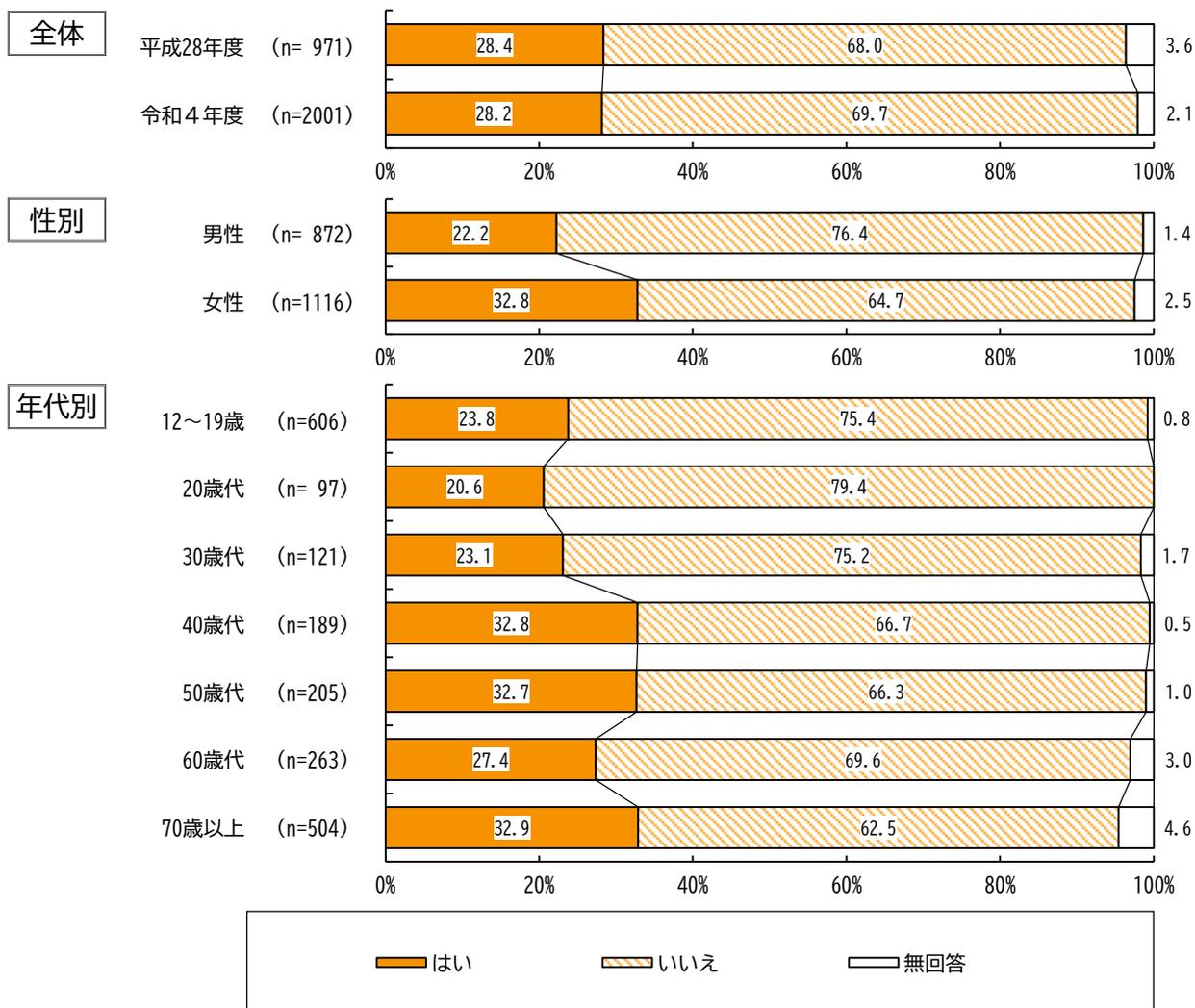
- ◆ 農林漁業体験の参加希望は、「はい（参加したい）」が44.7%と、平成28年度と比べて高くなっています。
- ◆ 性別では、女性に比べて男性で「はい（参加したい）」が高い傾向がみられます。
- ◆ 年代別では、年代が上がるにつれて「はい（参加したい）」が低くなる傾向がみられます。

食品ロス削減のために何らかの行動をしていますか。



- ◆ 食品ロス削減のための行動有無は、「はい（行動している）」が6割を超え、平成28年度と比べて高くなっています。
- ◆ 性別では、男性に比べて女性で「はい（行動している）」が高い傾向がみられます。
- ◆ 年代別では、50歳代においては「はい（行動している）」が70.7%と、他の年代と比べてやや高くなっています。
- ◆ 指標となっている「はい（行動している）」と回答した人の割合は61.2%となっています。

地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えていますか。

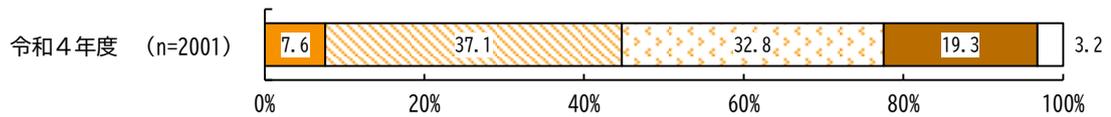


- ◆ 伝統的な料理等の継承は、「はい（伝えている）」が約3割と、平成28年度と同様の傾向となっています。
- ◆ 性別では、男性に比べて女性で「はい（伝えている）」が高い傾向がみられます。
- ◆ 年代別では、ほとんどの年代で3割前後と、大きな傾向の違いはみられません。
- ◆ 指標となっている「はい」と回答した人の割合は28.2%となっています。

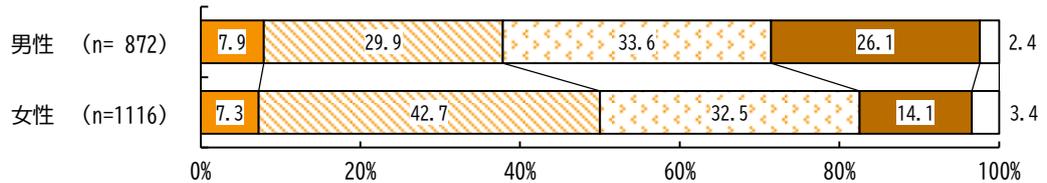
環境に配慮した農林水産物・食品\*を選んでいますか。

\*環境に配慮した農林水産物・食品とは、農薬や化学肥料に頼らず生産された有機農産物や、過剰包装でなくゴミが少ない商品など、環境への負荷をなるべく低減した農林水産物・食品のことです。

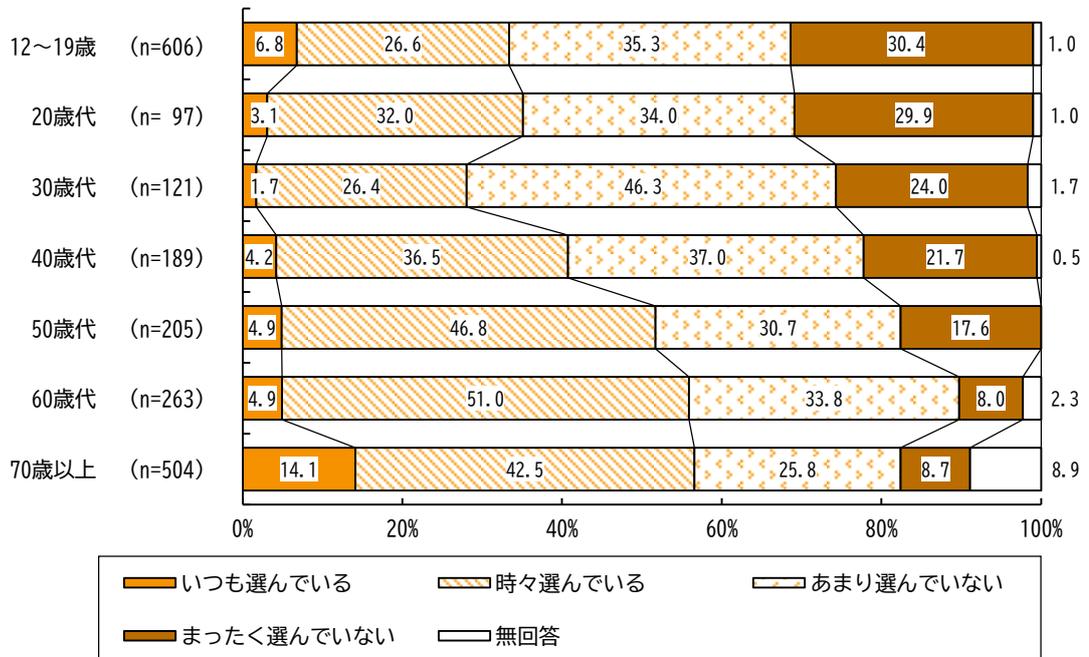
全体



性別



年代別



※平成28年度は調査なし

- ◆ 環境に配慮した食品の選択は、「時々選んでいる」が最も多く37.1%、次いで「あまり選んでいない」が32.8%となっています。
- ◆ 性別では、男性に比べて女性で『選んでいる』（いつも選んでいる+時々選んでいる）が高い傾向がみられます。
- ◆ 年代別では、年代が上がるにつれて『選んでいる』が高くなる傾向がみられます。

## 健康・食育に関する意識・生活アンケート調査 概要報告書

(令和4年11月発行)

発行：静岡市 保健福祉長寿局 健康福祉部 健康づくり推進課

〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号

T E L 054-221-1571 F A X 054-251-0035

編集：株式会社サーベイリサーチセンター静岡事務所

〒420-0853 静岡市葵区追手町8番1号

T E L 054-251-3661 F A X 054-252-6544

この報告書は、静岡県立大学 薬学部 森本達也教授、  
静岡県立大学 食品栄養科学部 桑野稔子教授の指導により作成しました。